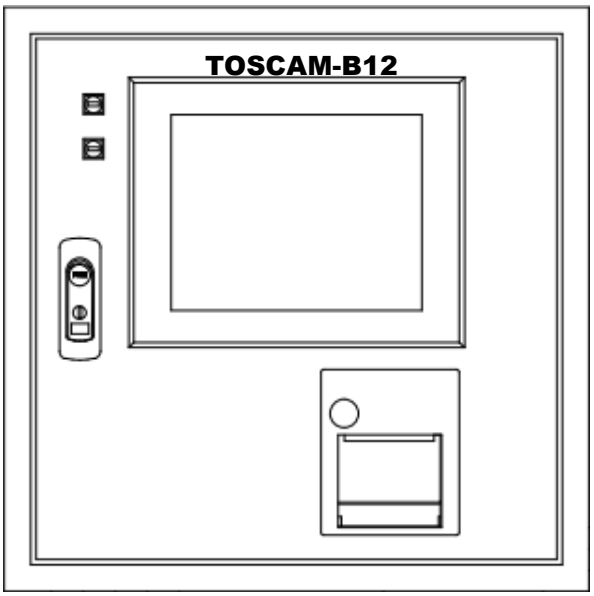
WM-3030997-2

取扱説明書

自動検針装置

（Web 機能編）



TOSCAM-B12

● **ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。**

はじめに

このたびは「自動検針装置 TOSCAM-B12」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は TOSCAM-B12 本体に搭載されている「Web 機能」、および TOSCAM-B12 本体からダウンロードしてご使用する「設定ツール」の操作方法について記載しています。

TOSCAM-B12 本体の操作方法については「TOSCAM-B12　取扱説明書（本体編）」をご確認ください。

商標について

※Windows、Windows7、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標、および製品です。
※Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
※Adobe　Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
※Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
※その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。
※本書に記載されている会社名、システム名、製品名等には必ずしも商標表示（TM. R）を付記しておりません。

目　次

はじめに ---------- 1
目次 ---------- 2

1. システム構成 4
1.1. 自動検針システムの構成 4
1.2. Web 機能使用時の構成 6

2. 機能一覧 7

3. 用語の説明 8
3.1. 検針について 8
3.2. 検針メータ数について 8
3.3. 入居者、メータの指定方法について 9
3.4. 検針値と指針値について 9
3.5. 増減率について 9
3.6. 料金計算について 10

4. 画面ツリー 11

5. 起動と操作 13
5.1. LAN コネクタの接続 13
5.2. 起動方法 14
5.3. Window 構成 15
5.4. ログイン Window 16
5.5. メインメニューWindow とサブメニューWindow 17
5.6. 本体との通信に失敗したとき 18
5.7. 終了 Window 18

6. 検針 19
6.1. 全メータ検針 19
6.2. 入居者別検針 21
6.3. メータ種別検針 23
6.4. 個別メータ検針 25
6.5. メータ交換検針 27
6.6. 未登録時の表示 29

7. 読取 32
7.1. 全メータ読取 32
7.2. 入居者別読取 34
7.3. メータ種別読取 36
7.4. 個別メータ読取 38
7.5. 未登録時の表示 40

8. 保守 42
8.1. ログ表示 43
8.2. ＴＴＥ保守 46
8.3. 検針値設定・確認 51
8.4. バージョン情報 53

9. 設定 54
9.1. 時刻設定 55
9.2. データベース更新 56
9.2.1 設定ツールのダウンロード 57
9.2.2 データベースの更新手順 58
9.2.3 パラメータファイルのダウンロード 59
9.2.4 パラメータファイルのアップロード 60
9.2.5 設定ツールの起動 62
9.2.6 ファイル読込 63
9.2.7 システム設定 64
9.2.8 メータ種別設定 67
9.2.9 メータ設定 69
9.2.10 入居者設定 72
9.2.11 ファイル出力 74
9.2.12 設定ツールの終了 75

10. グラフ 76
10.1. 日データ 76
10.2. 月データ 77
10.3. 年データ 78

11. 帳票、ダウンロード 79
11.1. 検針 79
11.2. 日報 80
11.3. 月報 81

12. 困ったときは 82
12.1. 基本動作、検針動作 82
12.2. エラー画面 83

<付録> 84
■グラフ例 84
■帳票例 86
■ファイル形式 90

1. システム構成

1.1. 自動検針システムの構成

自動検針装置 TOSCAM-B12 は、ビル、寮等に設置された電気・ガス・水道などの料金取引にご利用いただける各種計量器の検針を自動的に行い、その検針結果をもとに料金計算を行い料金表を作成します。この一連の機械処理により検針業務の効率化を図ることを目的としています。

自動検針装置 TOSCAM-B12 を用いた自動検針システムは以下の機器で構成されます。

	機器名	概要
1	自動検針装置 (TOSCAM-B12)	・タッチ操作パネル、サーマルプリンタ、電源部、および端子台で構成されています。 ・タッチ操作パネルに計量値および設定内容等を表示し、指やタッチペンで押すことにより手動検針等の操作を行います。 ・検針した結果はサーマルプリンタに印字することができます。
2	端末伝送器　　（注１） （RQ-TTEA、RQ-TTE、N-TTE）	・計量器から発信されたパルスを積算計量する電子カウンタと電子カウンタの値を自動検針装置本体に送出する伝送機能があります。
3	SmaMe（通信機能付電力量計） （注２）	・スマートメータ『SmaMe』（TypeH モデル、TypeM モデル、TypeS モデルがあります。）（注３）
4	発信装置付計量器 （注２）	・電力量計、ガスメータ、水道メータ等があります。
5	回線分配器（RQ-BR）	・RS-485 通信回線を分岐し、接続するメータ台数を増やすことができます。
6	管理者用 PC 閲覧者用 PC （注４）	・TOSCAM-B12 に搭載されている Web 機能により、LAN で接続されたパソコンで操作することができます。管理者は本体での操作と同様の操作ができます（印字機能を除く）。閲覧者は表示のみができます。
7	上位装置 （オプション）	・上位装置と接続用の RS-232C I/F を経由した回線にて複数台の TOSCAM-B12 を上位装置にあたるコンピュータへ接続し検針データの収集、管理等を行うことができます。

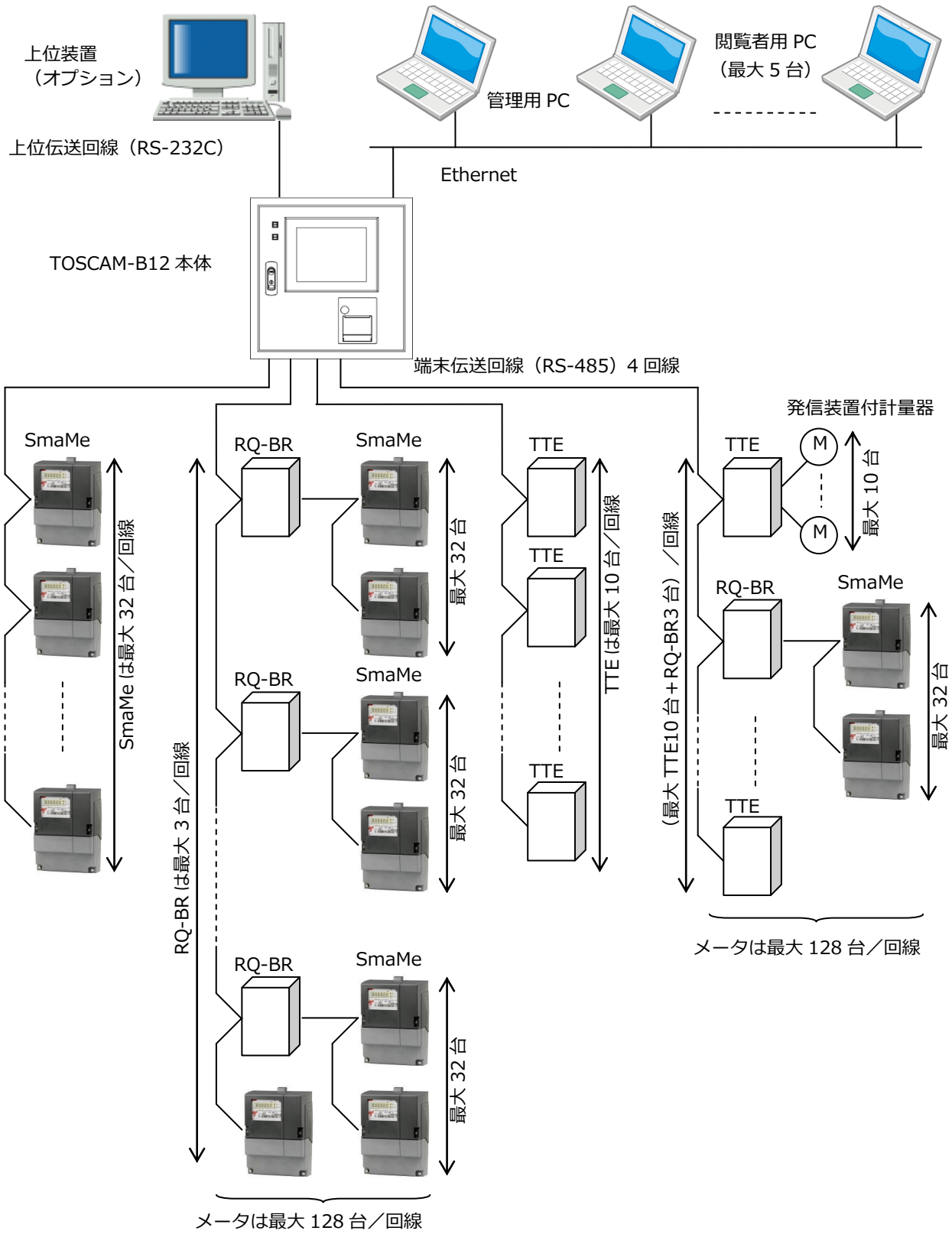
注１）本書の中では、端末伝送器については「TTE」と称します。

注２）本書の中では、発信装置付計量器および SmaMe（通信機能付電力量計）を総じて「メータ」と称すこともあります。

注３）SmaMe は東光東芝メーターシステムズ株式会社の登録商標です。

注４）本書の中では、管理者用 PC と閲覧者用 PC を総じて「クライアント PC」と称することもあります。

■システム構成例


上位装置
（オプション）
上位伝送回線（RS-232C）
管理用 PC
閲覧者用 PC
（最大 5 台）
Ethernet
TOSCAM-B12 本体
端末伝送回線（RS-485）4 回線
発信装置付計量器
SmaMe
SmaMe は最大 32 台／回線
RQ-BR
RQ-BR は最大 3 台／回線
最大 32 台
TTE
TTE は最大 10 台／回線
M
最大 10 台
（最大 TTE10 台＋RQ-BR3 台）／回線
メータは最大 128 台／回線

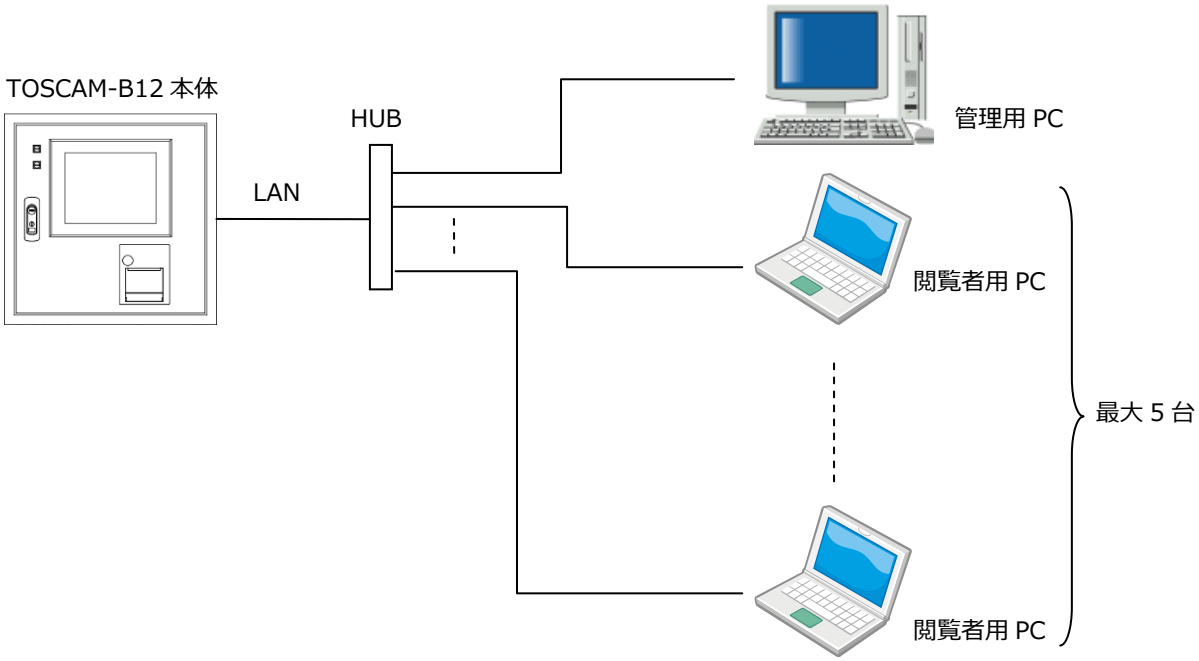
1.2. Web 機能使用時の構成

TOSCAM-B12 に搭載されている Web 機能により、LAN で接続されたパソコンで操作することができます。Web 機能を利用するのは管理者と閲覧者に分かれ、管理者は本体での操作と同様の操作ができます（印字機能を除く）。閲覧者は表示のみができます。

本体と Web の管理者での同時ログイン及び本体と Web の閲覧者での同時ログインはすることはできません。

また、Web の管理者がログイン中は、閲覧者はログインすることができません。

構成例



2. 機能一覧

Web 機能は、ログイン、検針、読取、保守、設定、グラフ、帳票の各メニューから構成され、管理者と閲覧者では使用できる機能が異なります。

メニュー	主な機能	内容	管理者	閲覧者
ログイン	・ログイン	・管理者または閲覧者でログインします。	○	○
検針	・全メータ検針 ・入居者別検針 ・メータ種別検針 ・個別メータ検針 ・メータ交換検針	・全メータ、入居者別、メータ種別、個別メータの検針を行うことができます。また、検針に引き続き検針結果を PDF 形式にて表示します。 ・メータを交換する際に、交換するメータのみを検針し、新しいメータの指針値を設定します。	○	
読取	・全メータ読取 ・入居者別読取 ・メータ種別読取 ・個別メータ読取	・全メータ、入居者別、メータ種別、個別メータの読取を行うことができます。また、読取に引き続き読取結果を PDF 形式にて表示します。	○	
保守	・ログ表示 ・TTE 保守 ・検針値設定・確認 ・バージョン情報	・システムエラー等のログ内容の表示を行います。 ・TTE のパラメータやカウンタの設定・確認を行います。 ・検針値の修正を行います。 ・本体のソフトウェアのバージョンを確認します。	○	
設定	・時刻設定 ・データベース更新	・現在の日付および時刻を自動検針装置本体に設定します。 ・本体のデータベースをダウンロード／アップロードします。	○	
グラフ	・日データ ・月データ ・年データ	・年月日ごとのデータをグラフ表示します。	○	○
帳票	・検針	・検針データの帳票を作成します。	○	
	・日報 ・月報	・日または月ごとのデータの帳票を作成します。	○	○

管理者、閲覧者はそれぞれ○印の機能を使用することができます。

3. 用語の説明

3.1. 検針について

『検針』とは、端末伝送器に接続しているメータや SmaMe のメータ値（計数値）を読取ることをいいます。

（1）検針方法

管理者の操作による検針と毎月（または隔月）設定された日時に自動的に検針を行う定時検針の 2 種類の検針方法があります。

（2）管理者の操作による検針の種類

管理者の操作による検針には次の種類があります。

	種類	内容
1	全メータ検針	・管理者の操作により、検針可能な全メータについて検針します。
2	入居者別検針	・管理者の操作により、入居者を指定し、指定された入居者に登録しているメータについて検針します。 ・指定入居者の検針後、継続して別の入居者の検針を行うこともできます。
3	メータ種別検針	・管理者の操作または検針日時設定により、メータ種別を指定し、検針します。
4	個別メータ検針	・管理者の操作により、メータを個別に検針します。 ・指定メータの検針後、継続して別メータの検針を行うこともできます。

誤操作を防止するために、手動による全メータ検針および同一種別でのメータ種別検針は 1 日 1 回しかできません。また、定時検針が実行されたメータ種別は手動によるメータ種別検針および全メータ検針はできません。

連続して検針を 2 度実施すると、使用量が 0 に近い値になるからです。

自動検針時刻前後で手動検針を実施すると、自動検針を優先するため、検針動作が中断される場合があります。

検針が中断された場合は、「検針帳票、ダウンロードメニューWindow」にて、中断された検針が完了しているか、無効となったのかを確認してください。

年月日のリストの中に実施した検針日が無い場合は、検針が無効になっているため、もう一度検針を実施してください。

（「検針帳票、ダウンロードメニューWindow」については、11.1 章（P79）を参照してください）

3.2. 検針メータ数について

検針メータ数は最大 512 台です。また、電気、ガス、水道等のメータ種別は 20 種類まで登録できます。なお、 1 入居者には、最大 20 台までのメータが登録できます。

3.3. 入居者、メータの指定方法について

『端末アドレス』でメータを特定します。これは、どのメータを検針するか指定する場合に必要です。

（1）TTE

TTE の端末アドレスは接続回線（0～3）、TTE の機器アドレス（0～9）およびメータ番号（0～9）から構成される3桁の数字（０００～３９９）です。

（2）SmaMe

SmaMe の端末アドレスは接続回線（0～3）およびメータの ID（製造番号）です。

3.4. 検針値と指針値について

TTE や SmaMe から送られてくる各メータのメータ値（計数値）を『検針値』と呼んでいます。この検針値をメータ種類の単位（kWh 等）に換算したものを『指針値』と呼び、換算するための係数のことを『乗率』と呼びます。

・検針値：
　TTE は１０進６桁です。
　SmaMe は１０進５桁のものと１０進４桁のものがあります。
・乗率の範囲：０．０１～１００．００
・指針値：検針値×乗率　１０進８桁（整数のみ）
・使用量：今回指針値－前回指針値（今回使用量の場合）
　　１０進６桁（ただし、合計使用量は１０桁）（整数のみ）

3.5. 増減率について

計算した使用量をもとに増減率を計算します。増減率は、画面及び PDF に表示します。増減率は次の計算式で算出されます。

増減率（%）＝｛（今回使用量－前回使用量）／前回使用量｝　×　１００

増減率は整数のみを表示します。エラーなどがあった場合は、以下のように表示します。

条件	表示内容
増減率が１００００%以上	「＊＊＊＊」
今回使用量または前回使用量が検針エラーの場合	（空白）
今回使用量および前回使用量がともに0	0
前回使用量が0で今回使用量が0以外	「＊＊＊＊」

3.6. 料金計算について

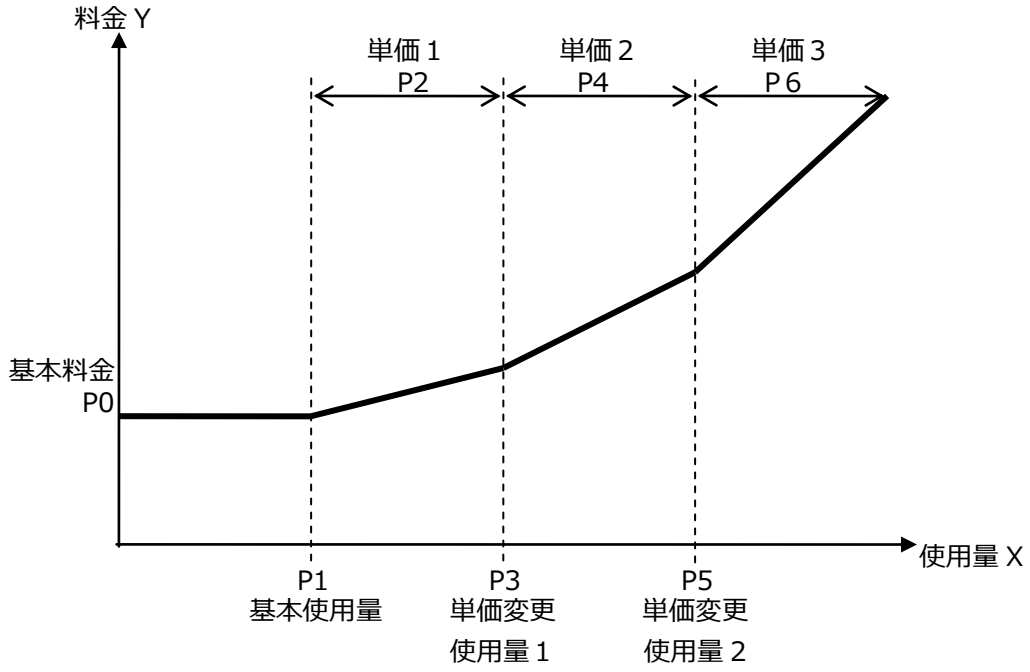
料金は次の式で計算されます。

1）今回使用量(X)が基本使用量(P1)以下の場合(X≦ P1)
料金　＝　基本料金

2）今回使用量(X)が基本使用量(P1)を超え、単価変更使用量１(P3)以下の場合(P1 ＜X≦ P3)
料金　＝　基本料金　＋(　(　今回使用量　－　基本使用量　)×　単価１　)

3）今回使用量(X)が単価変更使用量１(P3)を超え、単価変更使用量２(P5)以下の場合(P3 ＜X≦ P5)
料金　＝　基本料金　＋(　(単価変更使用量１　－　基本使用量　)　×　単価１　)
＋(　今回使用量　－　単価変更使用量１　)　×　単価２　)

4）今回使用量(X)が単価変更使用量 2(P5)を超えている場合(P5 ＜X)
料金　＝　基本料金　＋(　(単価変更使用量１　－　基本使用量　)　×　単価１　)
＋(　単価変更使用量２　－　単価変更使用量１　)　×　単価２　)
＋(　今回使用量　－　単価変更使用量２　)　×　単価３　)

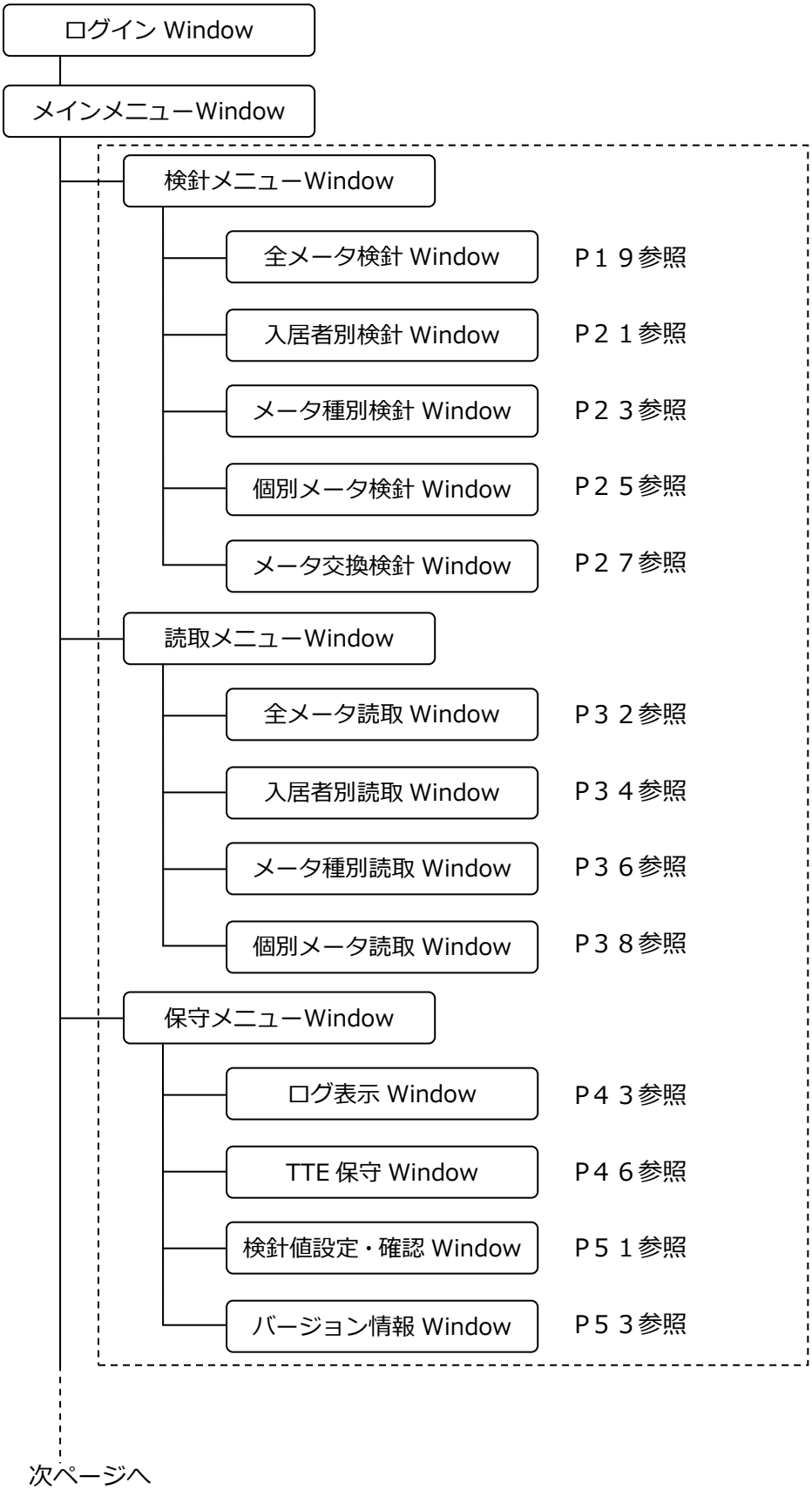


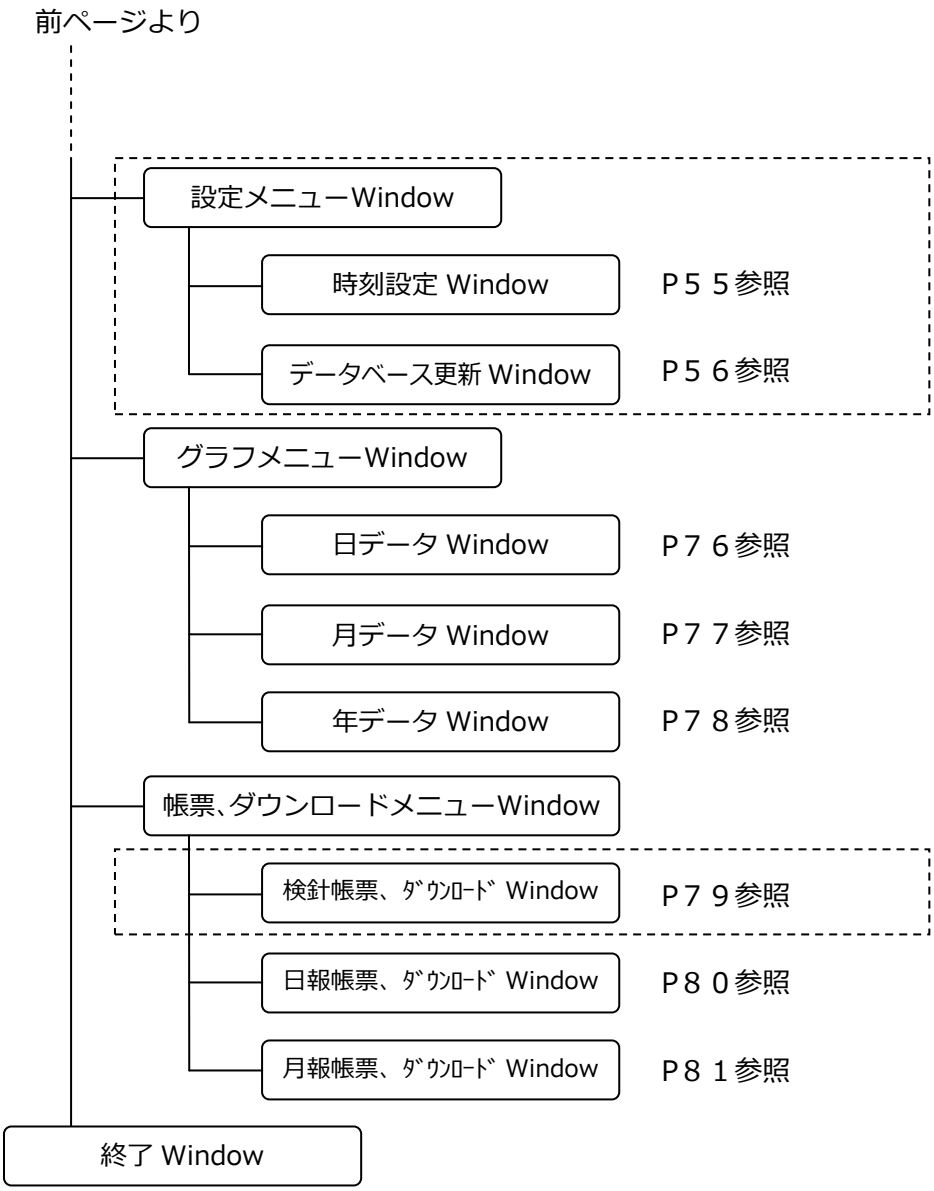
※１　料金は、計算結果の小数点以下は切り捨てます。
※２　料金は、１０進９桁で９桁を超えた場合にオーバーフローとなります。また、メータおよび入居者の合計料金も９桁を超えた場合にオーバーフローとなります。

⚠ 注意　テナント等にご請求される場合には事前に算出した料金を確認してください。

4. 画面ツリー

Web 機能における画面ツリーを以下に示します。点線内は管理者のみの機能です。



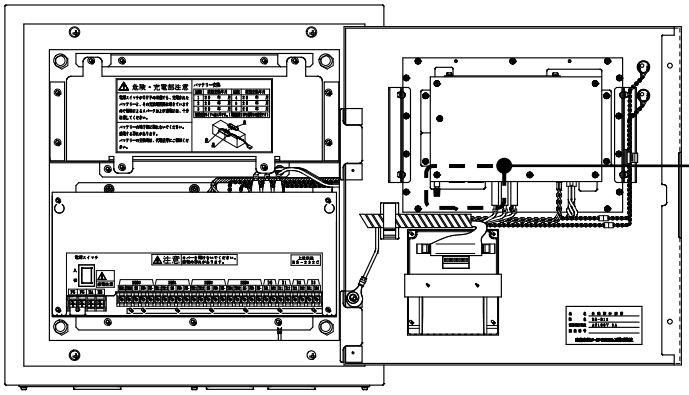

前ページより
設定メニューWindow
時刻設定 Window
P５５参照
データベース更新 Window
P５６参照
グラフメニューWindow
日データ Window
P７６参照
月データ Window
P７７参照
年データ Window
P７８参照
帳票､ダウンロードメニューWindow
検針帳票、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ Window
P７９参照
日報帳票、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ Window
P８０参照
月報帳票、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ Window
P８１参照
終了 Window

5. 起動と操作

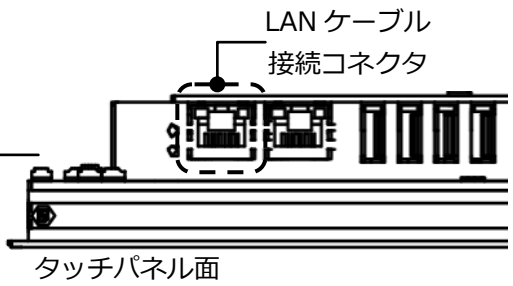
5.1. LAN コネクタの接続

Web 機能を使用するには、検針盤本体に LAN ケーブル（UTP）を接続してください。

検針盤本体（扉を開けた状態）



拡大（下から見た図）



⚠ **注意** LAN ケーブルを上図と異なるコネクタと接続した場合には、クライアント PC と本体が通信できませんので注意してください。

5.2. 起動方法

Web 機能をご利用いただくためには、パソコンに以下の条件が必要です。

・OS（日本語版）：Windows7 以上
・Web ブラウザ（日本語版）：Internet Explorer 8.0 以上
・JAVA：JavaTM 6 Standard　Edition 以上

検針データ、グラフ、帳票を表示、印刷するには Adobe Reader（無料）が必要です。Adobe Reader は以下の URL からダウンロードできます。

http://get.adobe.com/jp/reader/

■起動方法

Internet Explorer を起動し、アドレス欄に本体の URL を入力すると本体と通信を行い、Web 機能が起動し、ログイン Window が表示されます。

【初期状態の URL】

管理者用 PC：http://192.168.1.1:8080/RQB12_APP
閲覧者用 PC：http://192.168.1.1:8080/RQB12_CR

※下線部は、TOSCAM－B12 に設定した IP アドレスを使用してください。

5.3. Window 構成

各 Window は以下で構成されています。

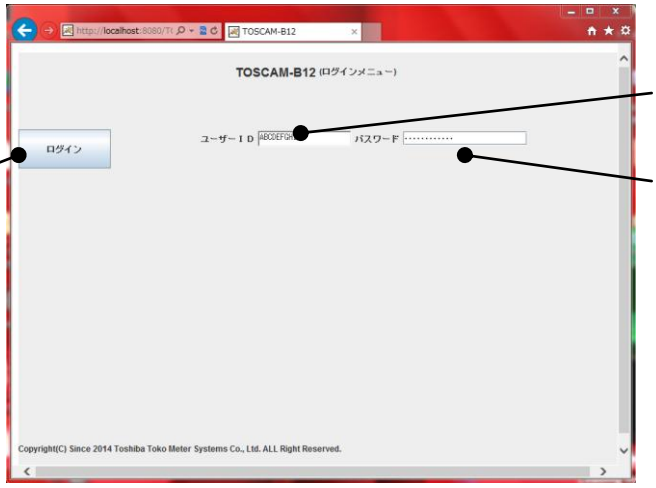
<table>
<tr><td colspan="2">（題名エリア）</td></tr>
<tr><td>（ボタン
エリア）</td><td>（メイン表示エリア）</td></tr>
</table>

各エリアの表示内容を以下のとおりです。

項目	表示内容
題名エリア	画面のタイトルを表示します。
ボタンエリア	各画面毎に必要なボタンを表示します。
メイン表示エリア	各画面毎に必要な表などを表示します。

5.4. ログイン Window

最初に下のパスワード入力画面を表示します。TOSCAM-B12 本体に設定しているユーザーID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックするとメインメニュー画面を表示します。

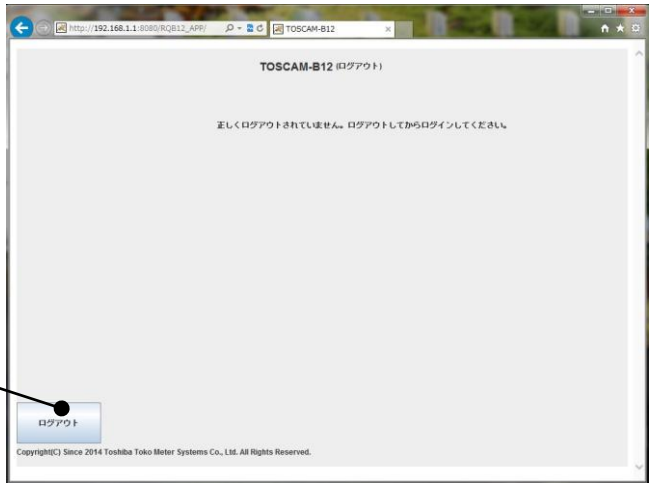


① ユーザーID を入力してください。

②パスワードを入力してください。

③「ログイン」ボタンをクリックしてください。

１５分以内にログアウト処理をしないで、ブラウザを閉じた場合、下記の画面が表示されるので、ログアウトを実施して、ログインの起動からやり直してください。



① 「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

メモ

<自動ログアウトについて>

起動後または最後に画面操作を行った後から１５分間、何も画面操作が無い場合には、自動的にログアウトされます。再び操作をする場合には再起動し、ログインからやり直してください。

画面を操作し、右のダイアログが表示された場合は、自動ログアウトされています。

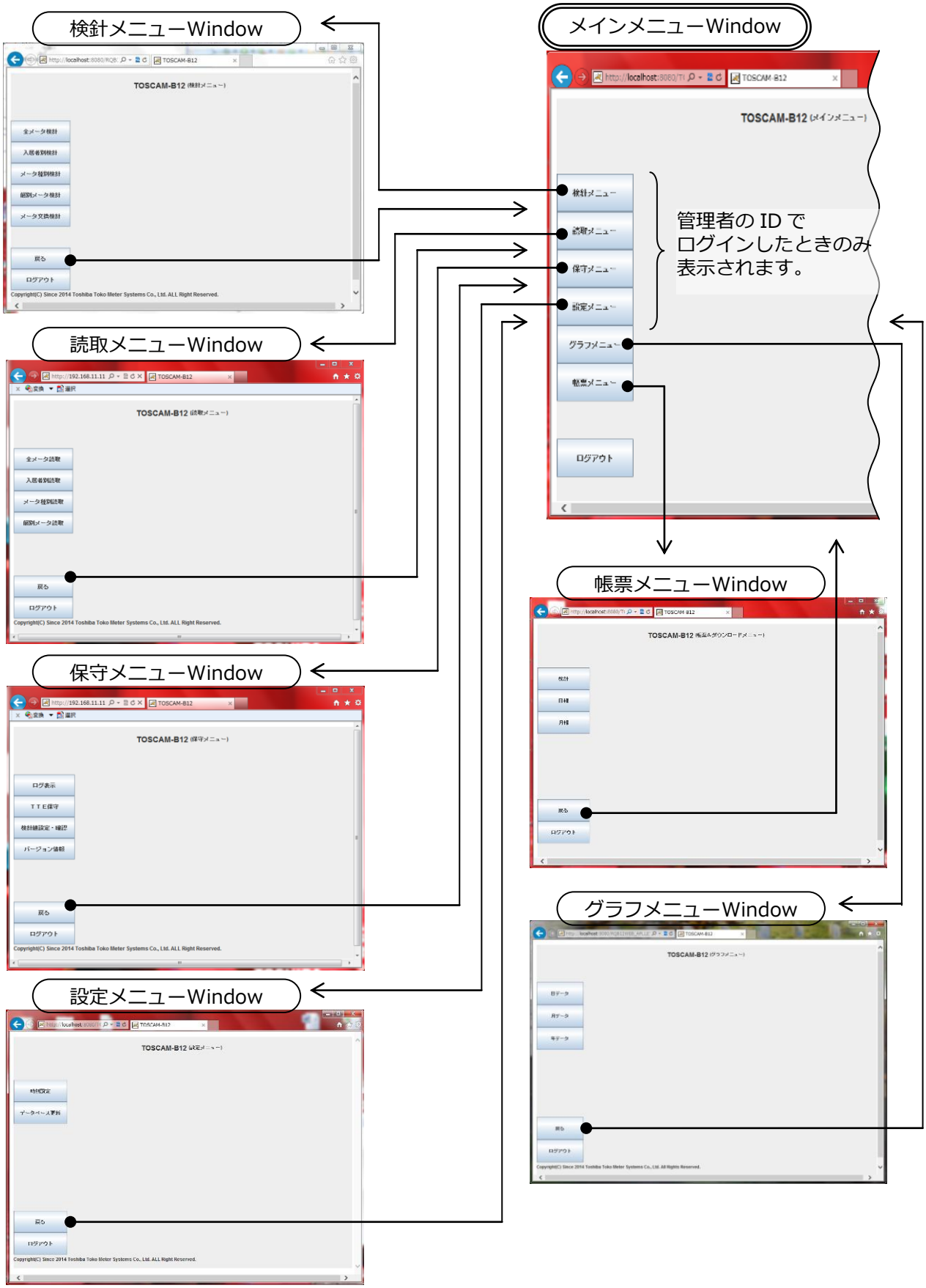
⚠ **注意**

・自動検針装置本体で操作中は管理者及び閲覧者の ID でログインすることができません。本体の操作が完了してからログインしてください。

・Web 機能で検針、読取等を実施中に他の Web ページに移動しないでください。移動したい場合は、検針、読取等の終了後、ログアウトしてから実施してください。検針、読取等を実施中に他の WEB ページに移動した場合、再度ログインするのに１５分程度待つ場合があります。

5.5. メインメニューWindow とサブメニューWindow

メインメニューWindow 上の各ボタンをクリックすると以下のようなサブメニューWindow を表示します。

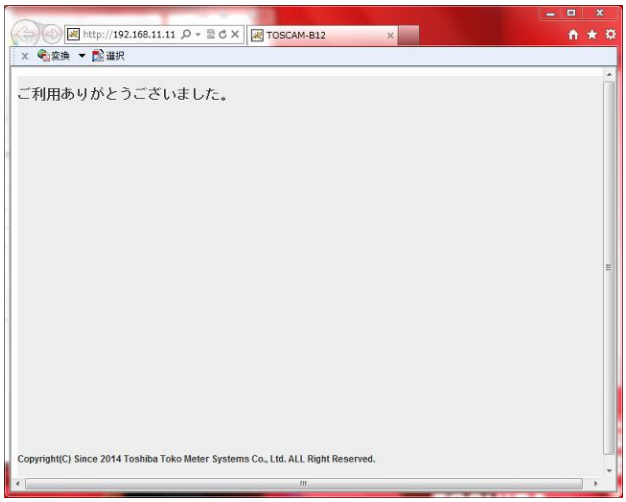


5.6. 本体との通信に失敗したとき

自動検針装置本体との通信に失敗した場合、以下のメッセージが表示されます。

5.7. 終了 Window

各画面の「ログアウト」ボタンをクリックすると以下の画面を表示し、ログアウトします。



6. 検針

検針は管理者でログインしたときのみ実施することができます。

「全メータ検針」、「入居者別検針」、「メータ種別検針」、「個別メータ検針」の４種類の検針業務を動作させるときは検針メニュー画面から画面のガイダンスに従って入力していけば目的の検針業務を実行することができます。

また、あらかじめ設定した検針日時に自動的に検針を行う「定時検針」の機能もあります。

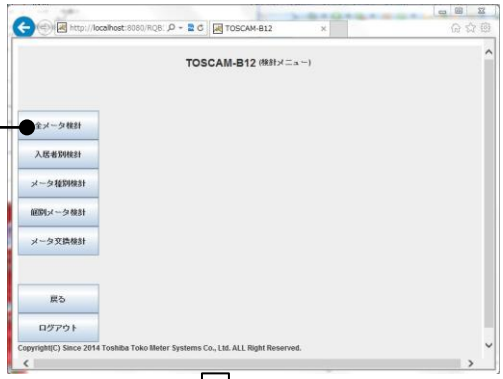
メータを交換する場合には、「メータ交換検針」で交換前と交換後の検針値を設定することができます。

6.1. 全メータ検針

入居者、メータ種別に関係なく、検針が許可されている全てのメータの検針を行います。検針後にデータを更新し、検針結果を PDF 形式で表示します。

検針メニューWindow

①「全メータ検針」ボタンをクリックしてください。

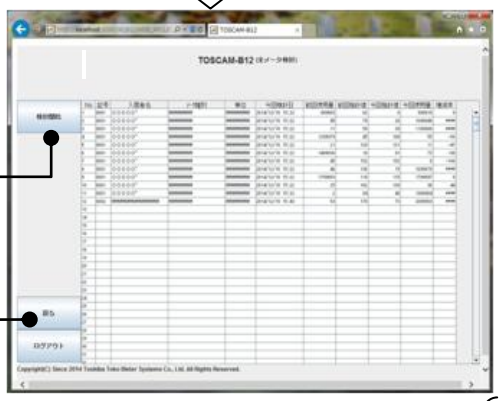


全メータ検針 Window

②前回の検針結果が表示されます。

③「検針開始」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると検針メニューWindow に戻ります。

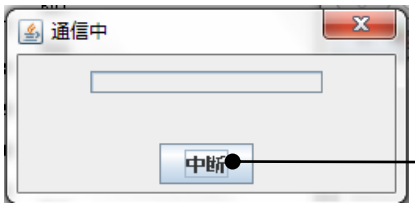


当日、既に検針を行っている場合

「OK」ボタンをクリックして全メータ検針 Window に戻ります。

次のページへ

④検針の進捗状況を表示します。

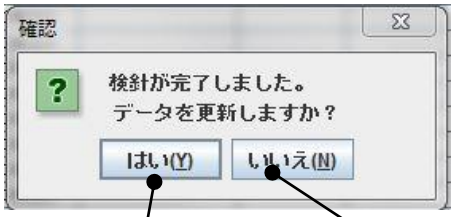


「中断」ボタンをクリックすると検針を中止します。

自動更新許可の場合

※エラーが発生した場合は、自動更新許可でも自動更新不許可と同一の動作となります。

自動更新不許可の場合

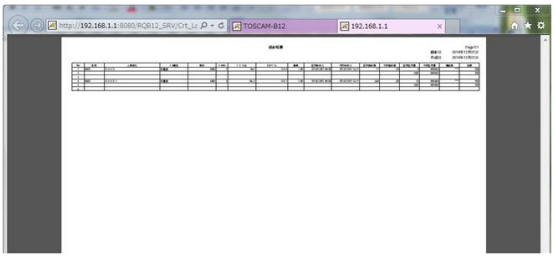


「はい」ボタンをクリックして検針値データを更新します。

「いいえ」ボタンをクリックするとデータの更新を中止します。

「はい」ボタンをクリックすると検針結果が別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

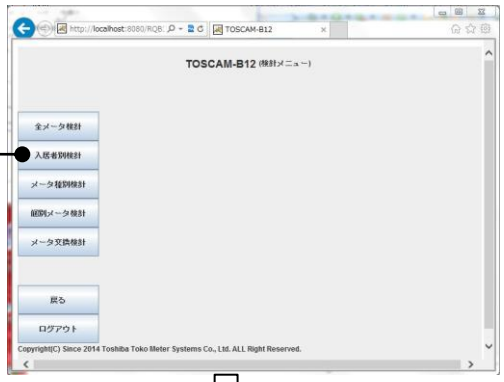
「いいえ」ボタンをクリックすると検針結果の表示を中止します。



6.2. 入居者別検針

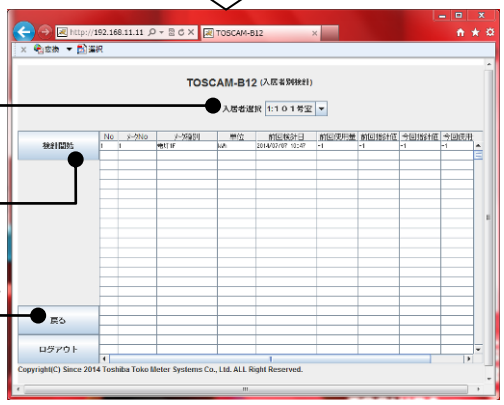
指定された入居者に登録されていて検針許可されているメータの検針を行います。検針後にデータを更新し、検針結果を PDF 形式で表示します。

検針メニューWindow



① 「入居者別検針」ボタンをクリックしてください。

入居者別検針 Window



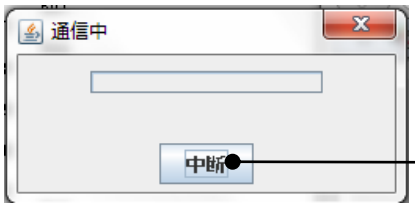
②入居者を選択してください。

③「検針開始」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると検針メニューWindow に戻ります。

次のページへ

④検針の進捗状況を表示します。

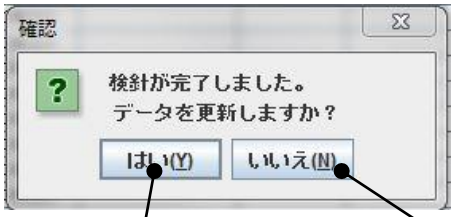


「中断」ボタンをクリックすると検針を中止します。

自動更新許可の場合

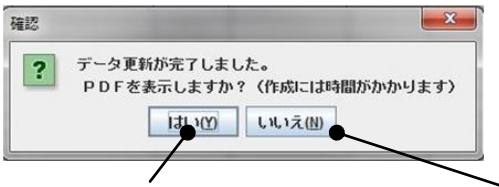
※エラーが発生した場合は、自動更新許可でも自動更新不許可と同一の動作となります。

自動更新不許可の場合



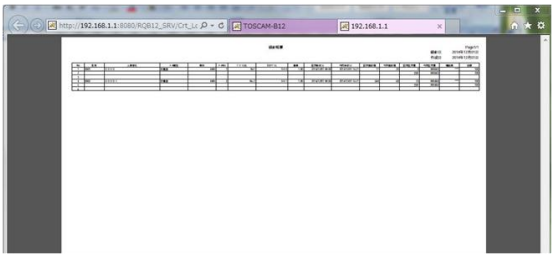
「はい」ボタンをクリックして検針値データを更新します。

「いいえ」ボタンをクリックするとデータの更新を中止します。



「はい」ボタンをクリックすると検針結果が別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

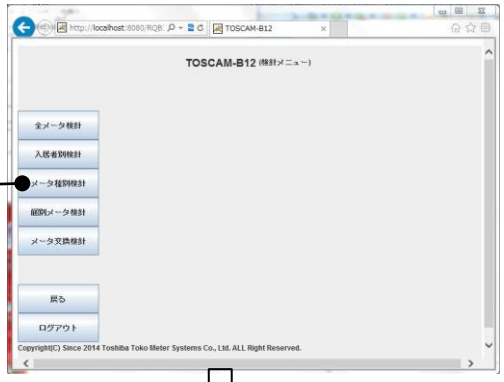
「いいえ」ボタンをクリックすると検針結果の表示を中止します。



6.3. メータ種別検針

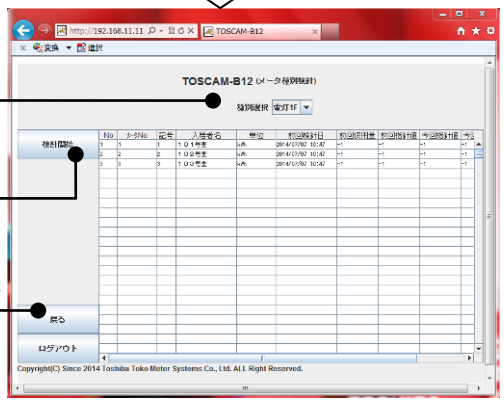
指定されたメータ種別に登録されていて検針許可されているメータの検針を行います。検針後にデータを更新し、検針結果を PDF 形式で表示します。

検針メニューWindow



①「メータ種別検針」ボタンをクリックしてください。

メータ種別検針 Window



②メータ種別を選択してください。

③「検針開始」ボタンをクリックしてください。

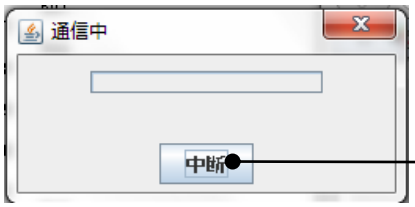
「戻る」ボタンをクリックすると検針メニューWindow に戻ります。

次のページへ

当日、既に検針を行っている場合

「OK」ボタンをクリックしてメータ種別検針 Window に戻ります。

④検針の進捗状況を表示します。

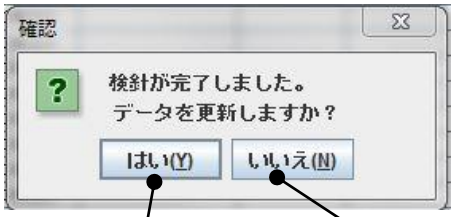


「中断」ボタンをクリックすると検針を中止します。

自動更新許可の場合

※エラーが発生した場合は、自動更新許可でも自動更新不許可と同一の動作となります。

自動更新不許可の場合

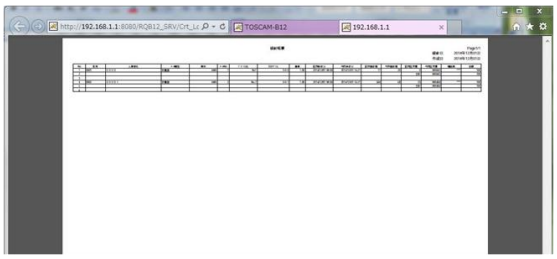


「はい」ボタンをクリックして検針値データを更新します。

「いいえ」ボタンをクリックするとデータの更新を中止します。

「いいえ」ボタンをクリックすると検針結果の表示を中止します。

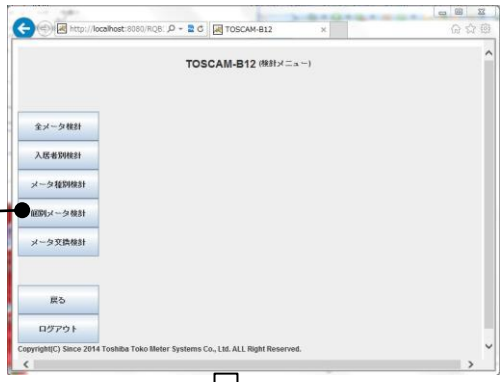
「はい」ボタンをクリックすると検針結果が別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。



6.4. 個別メータ検針

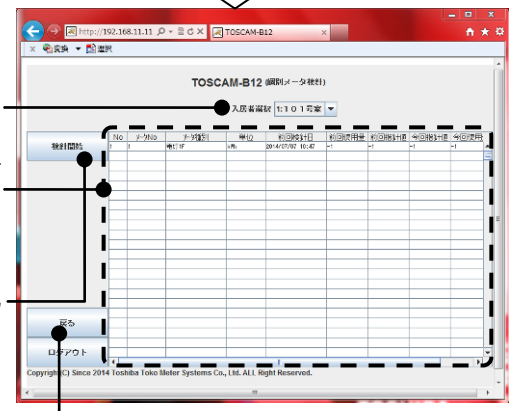
指定されたひとつのメータの検針を行います。検針後にデータを更新し、検針結果を PDF 形式で表示します。

検針メニューWindow



①「個別メータ検針」ボタンをクリックしてください。

個別メータ検針 Window



②入居者を選択してください。

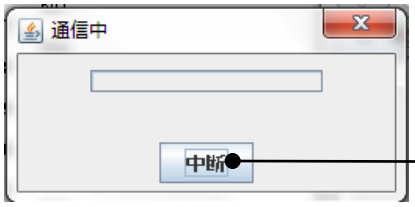
③入居者に登録されたメータが一覧表示されますので、検針するメータを選択してください。

④「検針開始」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると検針メニューWindow に戻ります。

次のページへ

⑤検針の進捗状況を表示します。

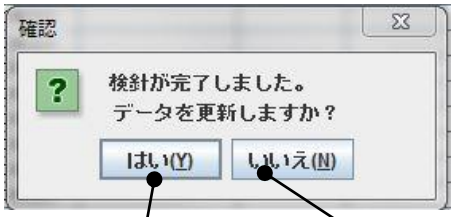


「中断」ボタンをクリックすると検針を中止します。

自動更新許可の場合

※エラーが発生した場合は、自動更新許可でも自動更新不許可と同一の動作となります。

自動更新不許可の場合

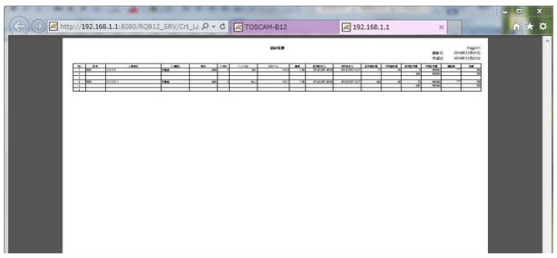


「はい」ボタンをクリックして検針値データを更新します。

「いいえ」ボタンをクリックするとデータの更新を中止します。

「はい」ボタンをクリックすると検針結果が別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

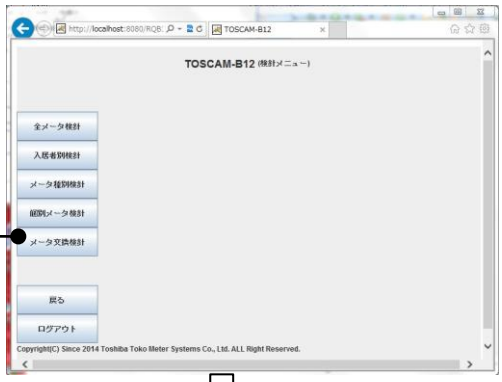
「いいえ」ボタンをクリックすると検針結果の表示を中止します。



6.5. メータ交換検針

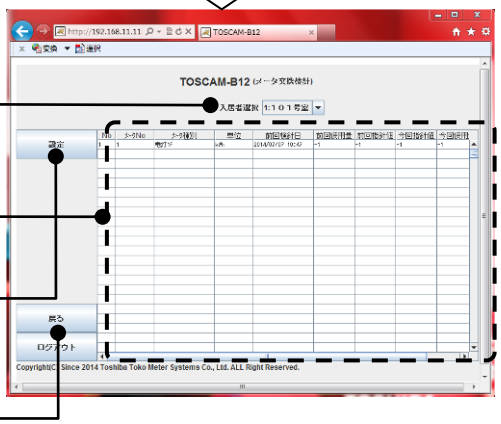
メータを交換する際に、交換前の検針値と交換後の検針値を設定します。

検針メニューWindow



①「メータ交換検針」ボタンをクリックしてください。

メータ交換検針 Window



②入居者を選択してください。

③入居者に登録されたメータが一覧表示されますので、検針するメータを選択してください。

④「設定」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると検針メニューWindow に戻ります。

⑤「交換前検針値」を入力してください。

⑥「交換後検針値」を入力してください。

「戻る」ボタンをクリックすると別のメータを選択することができます。

⑦「使用量」ボタンをクリックすると「交換前指針値」「交換後指針値」「交換前使用量」が算出されます。

⑧「交換前指針値」「交換後指針値」「交換前使用量」の算出に誤りがなければ、「設定」ボタンをクリックしてください。

次のページへ

⑨検針の進捗状況を表示します。

「いいえ」ボタンをクリックすると検針結果の表示を中止します。

「はい」ボタンをクリックして検針結果が別Window に PDF ファイル形式で表示されます。

> ⚠ 注意　「設定」ボタンをクリックせずに「戻る」ボタンをクリックすると、入力した内容が登録されません。登録する場合は必ず「設定」ボタンをクリックしてください。

「交換前検針値」「交換後検針値」は半角数字で入力してください。
設定している接続メータに従って、以下範囲内で入力してください。

SmaMe5 桁：0～99999
SmaMe4 桁：0～9999
RQ-TTEA：0～999999
RQ-TTE：0～999999

「使用量」ボタンをクリックすると、以下の計算を実施し、表示されます。

交換前指針値 ＝ 交換前検針値 × 乗率
交換後指針値 ＝ 交換後検針値 × 乗率
交換前使用量 ＝ 交換前指針値 － 今回指針値

6.6. 未登録時の表示

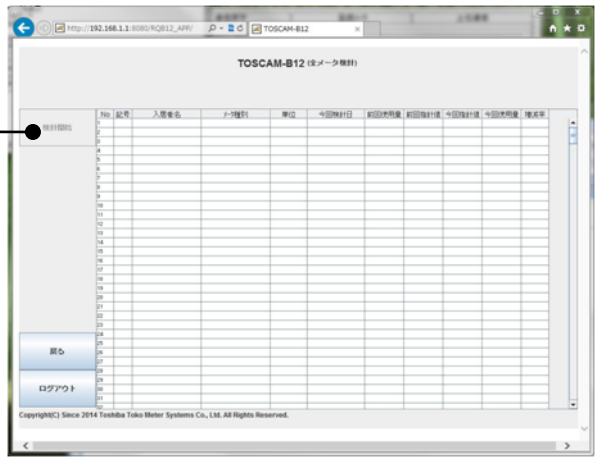
未登録の場合の表示について説明します。

（1）全メータ未登録の場合

全メータが未登録の場合は、全メータ検針メニューWindow の「検針開始」ボタンをクリックすることができません。メータを登録するには本体の操作による設定（「取扱説明書　本体編」を参照してください）、または Web 機能による管理者 PC からの登録が必要です。

全メータ検針 Window

「検針開始」ボタンをクリックすることができません。

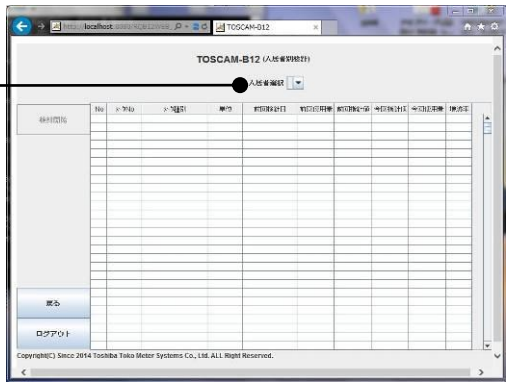


（2）全入居者未登録の場合

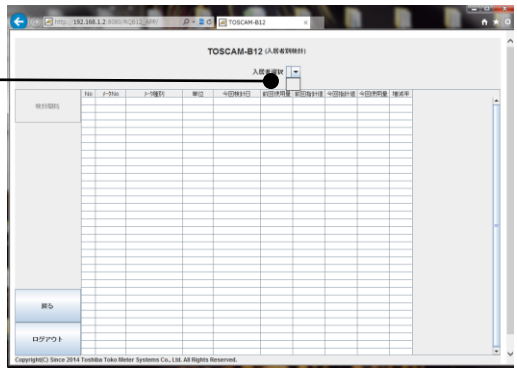
全入居者が未登録の場合は、入居者別検針 Window または個別メータ検針 Window から「入居者選択」に入居者が表示されません。入居者を登録するには本体の操作による設定（「取扱説明書　本体編」を参照してください）、または Web 機能による管理者 PC からの登録が必要です。入居者別検針 Window から「入居者選択」をクリックしたときの例を示します。

入居者別検針 Window

① 「入居者選択」の選択リストをクリックします。



②入居者が表示されません。

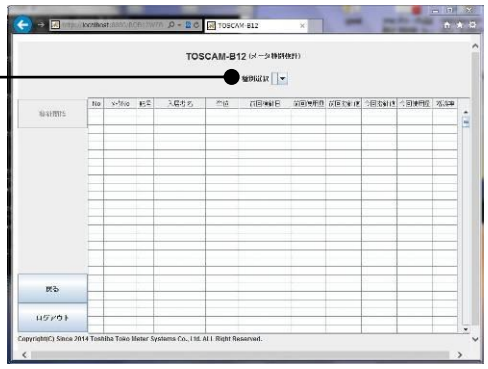


（3）全メータ種別未登録の場合

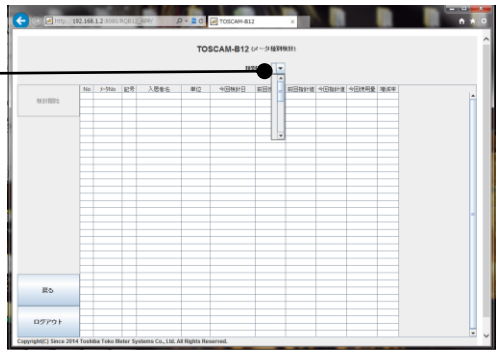
全てのメータ種別が未登録の場合は、メータ種別検針ができません。メータ種別を登録するには本体の操作による設定（「取扱説明書　本体編」を参照してください）、または Web 機能による管理者 PC からの登録が必要です。

メータ種別検針 Window

① 「種別選択」の選択リストをクリックします。



②メータ種別が表示されません。



7. 読取

読取は管理者でログインしたときのみ実施することができます。

「検針」と似た機能として「読取」があります。読取はメータ値を検針値として保存しません。検針日と検針日の途中でどのくらい使用したかを知りたいときなどのための機能です。「全メータ読取」、「入居者別読取」、「メータ種別読取」、「個別メータ読取」の４種類の読取があります。

7.1. 全メータ読取

入居者、メータ種別に関係なく、登録されている全てのメータの読取を行います。読取後に読取結果を PDF 形式で表示します。

読取メニューWindow

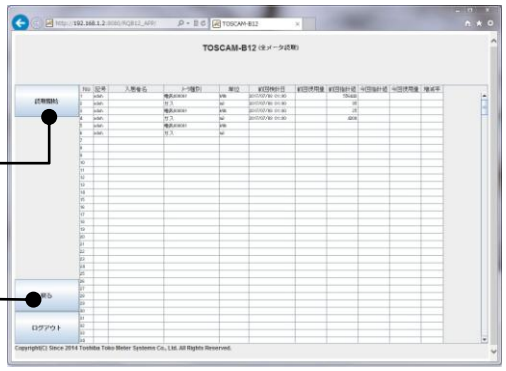
①「全メータ読取」ボタンをクリックしてください。

全メータ読取 Window

②前回の検針結果が表示されます。

③「読取開始」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると読取メニューWindow に戻ります。



次のページへ

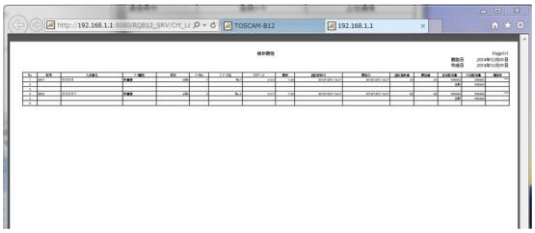
※全メータ読取 Window には以下が表示されます。
読取前：前回指針値、前回使用量、前回検針日（いずれも最新の検針結果が表示されます）
読取後：今回指針値、今回使用量に読取結果が表示されます。

④読取の進捗状況を表示します。

「中断」ボタンをクリックすると読取を中止します。

「はい」ボタンをクリックして読取結果が別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

「いいえ」ボタンをクリックすると読取結果の表示を中止します。



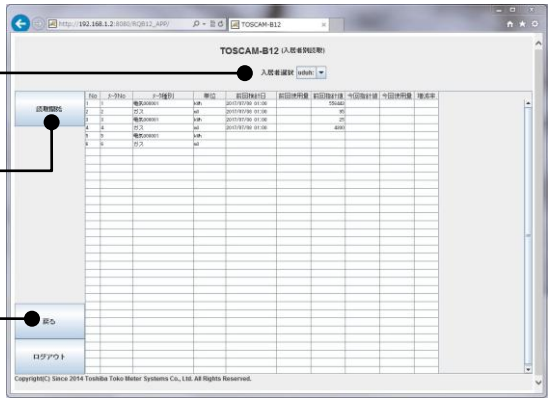
7.2. 入居者別読取

指定された入居者に登録されている全てのメータの読取を行います。読取後に読取結果を PDF 形式で表示します。

読取メニューWindow

①「入居者別読取」ボタンをクリックしてください。

入居者別読取 Window



②入居者を選択してください。

③「読取開始」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると読取メニューWindow に戻ります。

次のページへ

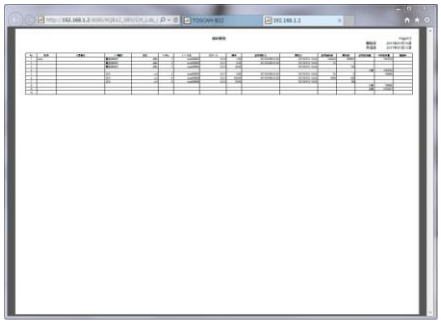
※入居者別読取 Window には以下が表示されます。
読取前：前回指針値、前回使用量、前回検針日（いずれも最新の検針結果が表示されます）
読取後：今回指針値、今回使用量に読取結果が表示されます。

④読取の進捗状況を表示します。

「中断」ボタンをクリックすると読取を中止します。

「はい」ボタンをクリックして読取結果が別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

「いいえ」ボタンをクリックすると読取結果の表示を中止します。



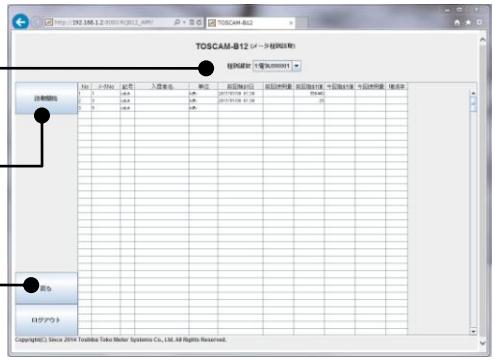
7.3. メータ種別読取

指定されたメータ種別に登録されている全てのメータの読取を行います。読取後に読取結果をPDF 形式で表示します。

読取メニューWindow

①「メータ種別読取」ボタンをクリックしてください。

メータ種別読取 Window



②メータ種別を選択してください。

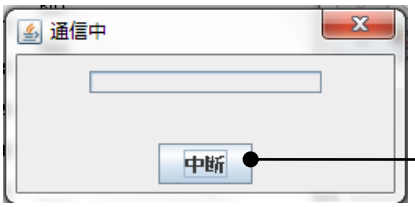
③「読取開始」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると読取メニューWindow に戻ります。

次のページへ

※メータ種別読取 Window には以下が表示されます。
読取前：前回指針値、前回使用量、前回検針日（いずれも最新の検針結果が表示されます）
読取後：今回指針値、今回使用量に読取結果が表示されます。

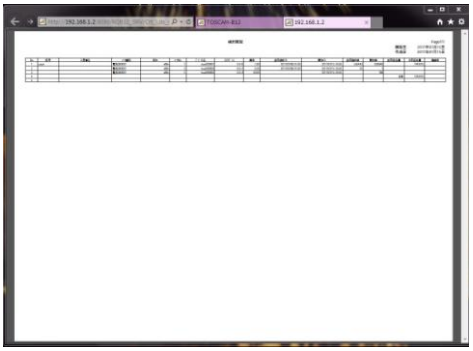
④読取の進捗状況を表示します。



「中断」ボタンをクリックすると読取を中止します。

「はい」ボタンをクリックして読取結果が別Windowに PDF ファイル形式で表示されます。

「いいえ」ボタンをクリックすると読取結果の表示を中止します。



7.4. 個別メータ読取

指定されたひとつのメータの読取を行います。読取後に読取結果を PDF 形式で表示します。

読取メニューWindow

①「個別メータ読取」ボタンをクリックしてください。

個別メータ読取 Window

②入居者を選択してください。

③入居者に登録されたメータが一覧表示されますので、読取するメータを選択してください。

④「読取開始」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると読取メニューWindow に戻ります。

次のページへ

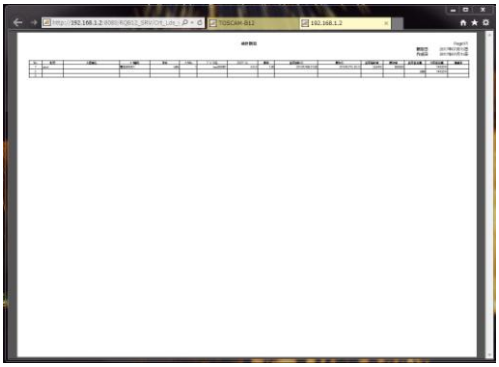
※個別メータ読取 Window には以下が表示されます。
読取前：前回指針値、前回使用量、前回検針日（いずれも最新の検針結果が表示されます）
読取後：今回指針値、今回使用量に読取結果が表示されます。

⑤読取の進捗状況を表示します。

「中断」ボタンをクリックすると読取を中止します。

「はい」ボタンをクリックして読取結果が別Window に PDF ファイル形式で表示されます。

「いいえ」ボタンをクリックすると読取結果の表示を中止します。



7.5. 未登録時の表示

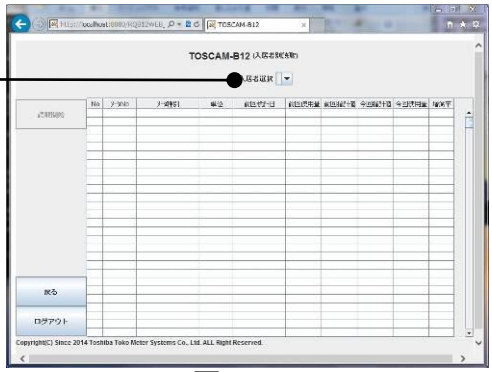
未登録の場合の表示について説明します。

（1）全入居者未登録の場合

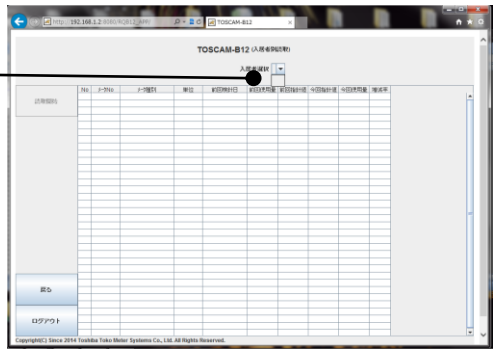
全入居者が未登録の場合は、入居者別読取 Window または個別メータ読取 Window から「入居者選択」に入居者が表示されません。入居者を登録するには本体の操作による設定（「取扱説明書　本体編」を参照してください）、または Web 機能による管理者 PC からの登録が必要です。入居者別読取 Window から「入居者選択」をクリックしたときの例を示します。

入居者別読取 Window

①「入居者選択」の選択リストをクリックします。



②入居者が表示されません。

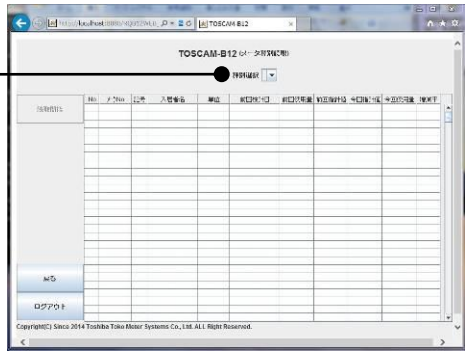


（2）全メータ種別未登録の場合

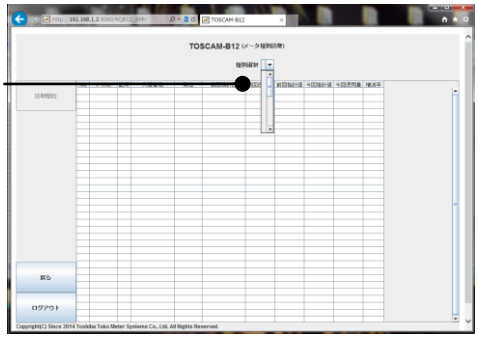
全てのメータ種別が未登録の場合は、メータ種別読取ができません。メータ種別を登録するには本体の操作による設定（「取扱説明書　本体編」を参照してください）、または Web 機能による管理者 PC からの登録が必要です。

メータ種別読取 Window

①「種別選択」の選択リストをクリックします。



②メータ種別が表示されません。



8. 保守

保守は管理者でログインしたときのみ実施することができます。

メータの運用に関する保守機能として、検針値の設定／確認、登録情報の確認、TTE の設定／確認などを行います。

章	やりたいこと	メニュー名称
8.1	自動検針装置本体に発生した事象や、操作・設定の履歴を確認します。	ログ表示
8.2	TTE のパラメータ設定／確認、TTE のカウンタの初期値設定、カウンタのリアルタイム確認を行います。	ＴＴＥ保守
8.3	全てのメータの検針値を一覧表示したり、検針値の設定／表示を行います。	検針値設定・確認
8.4	自動検針装置本体のファームウェアのバージョン情報を確認します。	バージョン情報

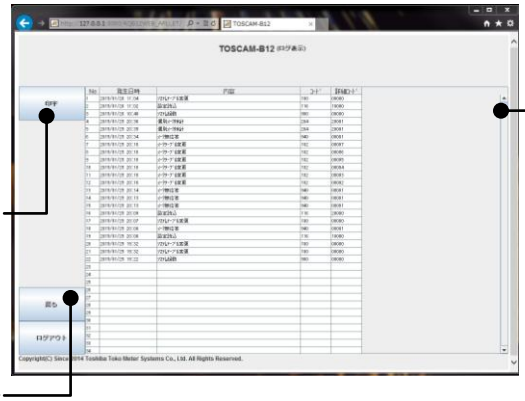
8.1. ログ表示

自動検針装置本体に発生した事象や、操作・設定の履歴を表示します。最大 1000 件まで記録できます。PDF 形式に表示することもできます。

保守メニューWindow

①「ログ表示」ボタンをクリックしてください。

ログ表示 Window



②履歴を記録した日時と履歴の内容とそのコードを表示します。

③履歴をＰＤＦファイル形式で表示する場合は、「印字」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると保守メニューWindow に戻ります。

一覧表示をスクロールするには、右のバーを上下に移動させます。

④ログが別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

※1　システムログに保存される履歴は次のとおりです。

分類	コード	詳細コード	ログ	内容
設定	100	00000	システムテーブル変更	時刻設定方式、通信設定、クライアント設定、管理者設定が変更された
	101	000NN	メータ種別変更	メータ種別設定が変更された（NN=メータ種別番号）
	102	00NNN	メータテーブル変更	メータ設定が変更された（NNN=メータ番号）
	103	00NNN	入居者テーブル変更	入居者設定が変更された。（NNN=入居者番号）
	104	F0000	日時手動設定	日時が手動で変更された （F=1:本体,2:Web,3:上位）
	105	00000	バッテリ交換日変更	バッテリ交換日が変更された
	106	F0NNN	検針値設定	検針値を設定した（F=1:本体,2:Web、NNN=メータ番号）
	107	00000	バッテリ設定変更	バッテリ使用有無が変更された
	110	F0NNN	TTE 初期値設定	TTE へカウンタ設定を行った （F=1:本体,2:Web,3:上位、NNN=メータ番号）
	111	F0NNN	TTE パラメータ設定	TTE へパラメータ設定を行った （F=1:本体,2:Web,3:上位、NNN=メータ番号）
	112	30000	時刻設定	上位から時刻が設定された
	113	00000	印字表題設定	印字表題設定を行った
	114	0ABCD	自動更新設定	自動更新設定を行った 桁の内容は以下の通り A=全メータ検針　B=メータ種別検針 C=入居者検針　D=個別メータ検針 パラメータは以下の通り 0:自動更新しない　1:自動更新する
	115	0ABCD	警報出力設定	警報出力設定 桁の内容は以下の通り A=本体異常　B=バッテリ電圧低下 C=プリンタ異常　D=予備 パラメータは以下の通り 0:接点出力しない　1:接点出力する
	116	F0000	設定読込	設定ファイルを読込んだ （F:1=USB、2=Web）
検針	200	000NN	定時検針	定時検針が行われた（NN=メータ種別番号）
	201	F0000	全メータ検針	全メータ検針を行った（F:1=本体、2=Web）
	202	F00NN	メータ種別検針	メータ種別検針を行った （F:1=本体、2=Web、NN=メータ種別番号）
	203	F0NNN	入居者別検針	入居者検針を行った （F:1=本体、2=Web、NNN=入居者番号）
	204	F0NNN	個別メータ検針	個別メータ検針を行った （F:1=本体、2=Web、NNN=メータ番号）
	205	F0NNN	メータ交換検針	メータ交換検針を行った （F:1=本体、2=Web、NNN=メータ番号）
システム	900	00000	システム起動	システム起動
	901	0000N	再起動	監視によるプログラム再起動（N はプログラムの種別を示す）
	903	00000	バッテリ電圧低下	バッテリ（オプション）電圧低下を検出
	904	00000	プリンタ異常	プリンタ異常を検出（紙切れ等）
	906	00000	本体異常	CPU 温度異常を検出

次ページに続く

分類	コード	詳細コード	ログ	内容
通信	930	00000	端子台通信異常	端子台基板から無応答
	940	00NNN	メータ無応答	メータから無応答（NNN=メータ番号）
	941	00NNN	フレーミングエラー	メータとのフレーミングエラー（NNN=メータ番号）
	942	00NNN	パリティエラー	メータとのパリティエラー（NNN=メータ番号）
	945	00NNN	BCC 不一致	メータとの BCC 不一致（NNN=メータ番号）
	946	00NNN	データエラー	メータとのテキストエラー（NNN=メータ番号）
	947	00NNN	アドレス不一致	メータとのアドレス不一致（NNN=メータ番号）
TTE	951	00NNN	ROM チェックサムエラー	ROM チェックサムエラー（NNN=メータ番号）
	952	00NNN	RAM　R/W エラー	RAM　R/W エラー（NNN=メータ番号）
	953	00NNN	EEPROM データエラー	EEPROM データエラー（NNN=メータ番号）
	954	00NNN	計量値異常	計量値異常（NNN=メータ番号）
	955	00NNN	パラメータ異常	パラメータ異常（NNN=メータ番号）
	956	00NNN	パルス入力異常	パルス入力異常（NNN=メータ番号）
	957	00NNN	受信タイムオーバー発生	受信タイムオーバー発生（NNN=メータ番号）
	958	00NNN	フレーミングエラー発生	フレーミングエラー発（NNN=メータ番号）
	959	00NNN	オーバーランエラー発生	オーバーランエラー発生（NNN=メータ番号）
	960	00NNN	テキストエラー発生	テキストエラー発生（NNN=メータ番号）
	961	00NNN	12V 電圧異常	12V 電圧異常（NNN=メータ番号）
	962	00NNN	メータ初期値未設定	メータ初期値未設定（NNN=メータ番号）
	963	00NNN	INF 異常	INF 異常（NNN=メータ番号）

8.2. ＴＴＥ保守

ＴＴＥ保守はＴＴＥのパラメータ設定／確認、ＴＴＥのカウンタの初期値設定、カウンタ値の確認などを行います。

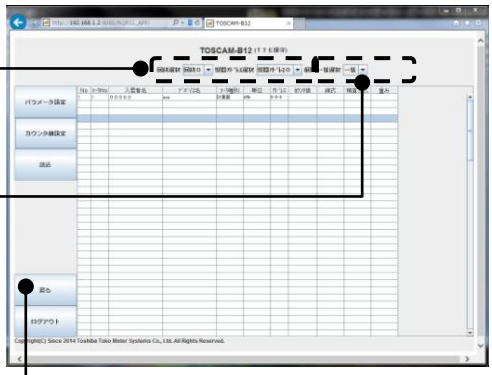
これらを実施する前に、次の手順で対象となるＴＴＥを選択してください。

■TTE の選択手順

保守メニューWindow

①「TTE 保守」ボタンをクリックしてください。

TTE 保守 Window



②「回線」と「機器アドレス」を選択してください。

③「個別」か「一括」を選択してください。

※「一括」を選択すると、選択した回線・機器アドレスの TTE のメータをすべて同じパラメータに設定します。

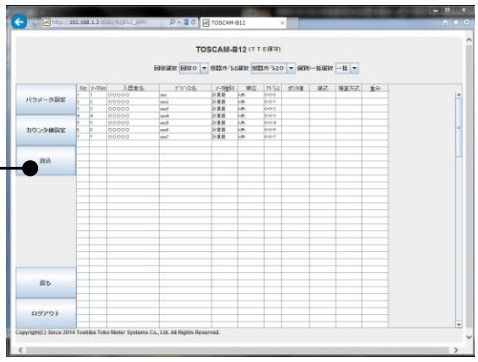
「戻る」ボタンをクリックすると保守メニューWindow に戻ります。

「読込」ボタン　　：カウンタ値・パラメータ値の確認を行います。→ ４７ページ
「パラメータ設定」ボタン：パラメータの設定を行います。　　→ ４８ページ
「カウンタ値設定」ボタン：カウンタ値の確認・設定を行います。　→ ４９ページ

■カウンタ値の確認

TTE 保守 Window

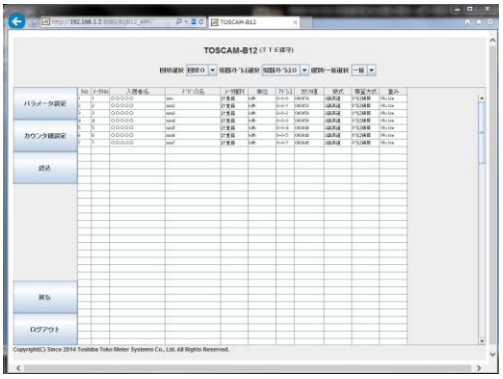
回線・機器アドレス選択後の画面



① 「読込」ボタンをクリックしてください。

②TTE と通信し、カウンタ値・パラメータ値を収集します。

③収集したカウンタ値･パラメータ値を表示します。



■パラメータの設定

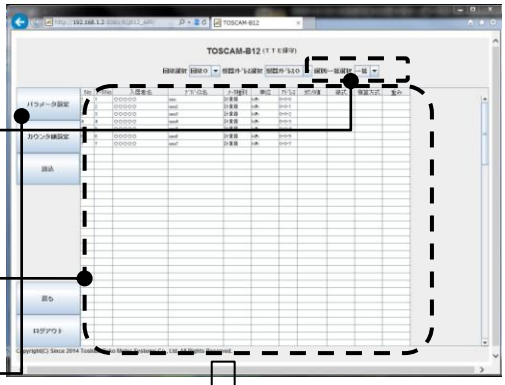
TTE 保守 Window

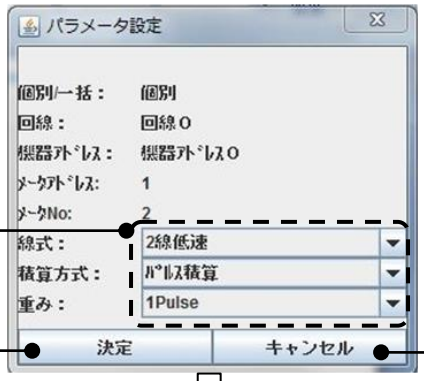
回線・機器アドレス選択後の画面

①個別・一括の選択してください。

②設定するメータの行を選択してください（個別のみ）。

③「パラメータ設定」ボタンをクリックしてください。





④各パラメータを選択してください。（設定範囲は下表を参照してください。）

⑤「設定」ボタンをクリックしてください。

「キャンセル」ボタンをクリックすると TTE 保守 Window に戻ります。

⑥TTE と通信し、パラメータを設定します。

通信終了後 TTE 保守 Window に戻ります。

パラメータ設定内容

パラメータ	設定内容
線式	「２線低速」、「３線」、「２線高速」から選択します。
積算方式	「パルス積算」、「ON 時間積算」から選択します。
重み	積算方式を「パルス積算」に設定したときの重みを設定します。 「1Pulse」、「0.5Pulse」から選択します。

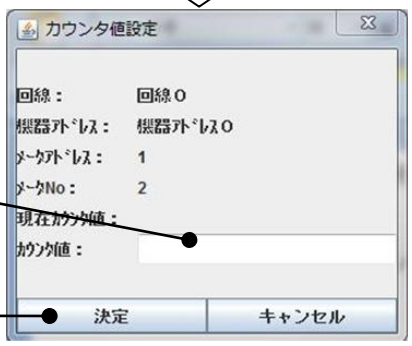
■カウンタ値の設定

TTE 保守 Window

回線・機器アドレス選択後の画面

①設定するメータの行を選択してください。

②「カウンタ値設定」ボタンをクリックしてください。



③カウンタ値を入力してください。
※

④「決定」ボタンをクリックしてください。

※カウンタ値は半角数字で
0～999999 の範囲で入力してください。

⑤TTE と通信し、パラメータを設定します。

通信終了後 TTE 保守 Window に戻ります。

＜ＴＴＥについて＞

・本体装置からはメータのカウンタ値、接続種別（２線低速／２線高速／３線）、パルスの重み（１／０．５）、積算種別（パルス積算／ＯＮ時間積算）の設定が可能です。

・ＴＴＥ１台につき、２線式メータおよび３線式メータのパルスの積算または２線式メータの接点のＯＮ時間積算を最大１０点まで計測できます。

・計量値であるＴＴＥカウンタは“ ００００００”から始まり、“ ９９９９９９”まで１ずつカウントアップします。“ ９９９９９９”の次は“ ００００００”に戻ります。

・２線式低速パルスモードは、電力量計、２線式ガスメータ、２線式水道メータなどからのパルスを入力するときに設定します。
・３線式パルスモードは、３線式ガスメータ、３線式水道メータなどからのパルスを入力するときに設定します。
・２線式高速パルスモードは、パルスＯＮ時間が１００ｍｓ以下のメータからのパルスを入力するときに設定します。

・パルスレートは１．０m^3または０．５m^3の２種類があり、パルスレートが１．０m^3の場合は１パルス入力毎に１カウントアップし、パルスレートが０．５m^3の場合は２パルス入力毎に１カウントアップします。

・これらの設定は管理者用 PC 以外にも、本体、上位装置またはＴＴＥチェッカからの設定でも行うことができます。なお本体、上位装置またはＴＴＥチェッカからの設定方法は各々の説明書をご覧ください。

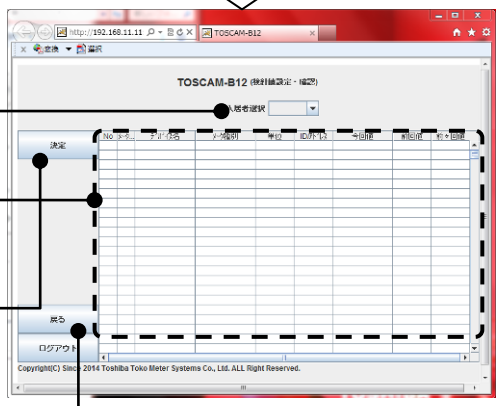
8.3. 検針値設定・確認

登録された全てのメータの検針値を一覧表示で確認したり、検針値の設定を行います。検針値設定後に検針値設定結果を PDF 形式で表示します。

保守メニューWindow

①「検針値設定・確認」ボタンをクリックしてください。

検針値設定・確認 Window



②入居者を選択してください。

③入居者に登録されたメータの検針結果が一覧表示されますので、設定するメータを選択してください。

④「決定」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると保守メニューWindow に戻ります。

次のページへ

⑤「今回検針値」」、「前回検針値」を入力してください。※

⑥「計算」ボタンをクリックしてください。

⑦「決定」ボタンをクリックしてください。

「キャンセル」ボタンをクリックすると検針値設定・確認 Window に戻ります。

⑧検針の進捗状況を表示します。

⑨検針値設定結果が別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

※今回検針値および前回検針値は半角数字で以下の範囲で設定してください。

RQ-TTE または RQ-TTEA	：0～999999
SmaMe5 桁	：0～99999
SmaMe4 桁	：0～9999

※「計算」ボタンをクリックすると以下の計算を実施し、表示されます。

変更後今回指針値 ＝ 今回検針値 × 乗率

変更後前回指針値 ＝ 前回検針値 × 乗率

※「変更後今回指針値」「変更後前回指針値」をよく確認してから「決定」ボタンをクリックしてください。

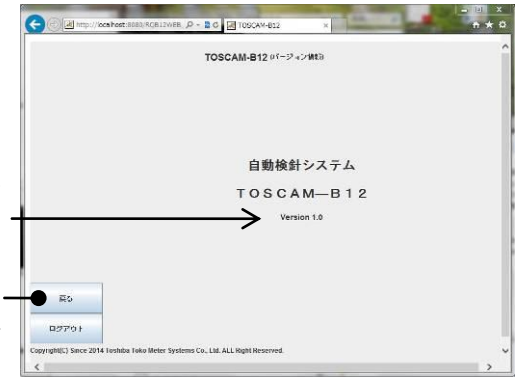
8.4. バージョン情報

自動検針装置本体のソフトバージョン情報を表示します。

保守メニューWindow

①「バージョン情報」ボタンをクリックしてください。

バージョン情報 Window



②バージョン情報が表示されます。

「戻る」ボタンをクリックすると保守メニューWindow に戻ります。

9. 設定

設定は管理者でログインしたときのみ実施することができます。

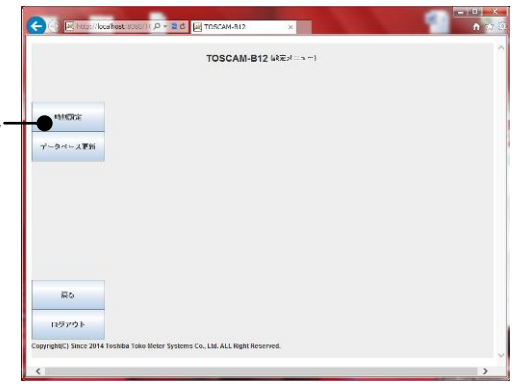
自動検針装置本体の時計設定や、設定ツールをダウンロードして自動検針装置本体の各種パラメータの設定を行います。

章	やりたいこと	メニュー名称
9.1	自動検針装置本体の日付、時刻を設定します。	時刻設定
9.2	設定ツールをダウンロードし、各種設定を行います。	データベース更新

9.1. 時刻設定

自動検針装置本体の時刻の設定や読み込みを行います。

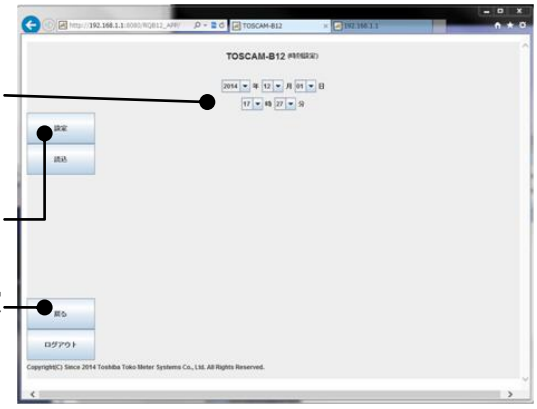
設定メニューWindow



①「時刻設定」ボタンをクリックしてください。

時刻設定 Window

設定するとき

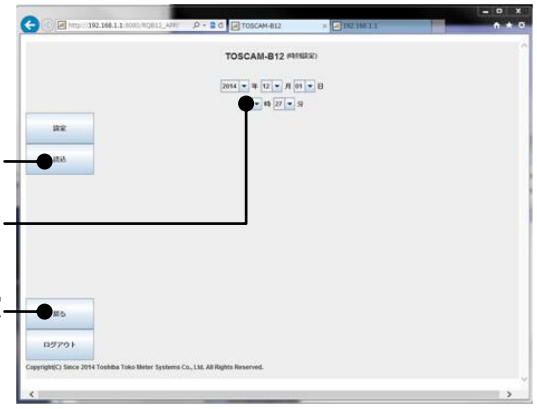


②年月日時分を選択してください。

③「設定」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニューWindow に戻ります。

読み込むとき



②「読込」ボタンをクリックしてください。

③本体の時刻が表示されます。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニューWindow に戻ります。

> ⚠ **注意**
>
> 使用していると時計がずれてきますので、定期的に時計設定を行ってください。

9.2. データベース更新

自動検針装置本体には、以下のデータベース（パラメータファイル）が保存されています。これらのファイルをダウンロード／アップロードすることができます。

また、自動検針装置本体に保存されている「設定ツール」をダウンロードし、これを使用してパラメータファイルを編集することができます。

■パラメータファイル

項目	パラメータ	ファイル名
システム設定	管理者設定、クライアント設定、時刻設定方法、印字表題設定、自動更新許可設定、警報出力設定、通信設定、バッテリ使用設定	System.tsv
メータ種別設定	種別名、単位、基本料金、基本使用量、単価 1,2,3、単価変更使用量 1,2、定時検針月日時	Meter_Kind.tsv
メータ設定	接続メータ、デバイス名、メータ種別、乗率、回線、ID、検針許可、印字許可	Meter.tsv
入居者設定	記号、入居者名、入居者に登録するメータの追加・削除	User.tsv

■設定ツール

ファイル名：RQ_B12_TOOL.exe

動作環境（OS）：Windows 7（日本語版）

種別名や入居者名など、文字列を設定する際には以下を設定しないでください。設定エラーとなります。

・半角「¥」「\」「’」

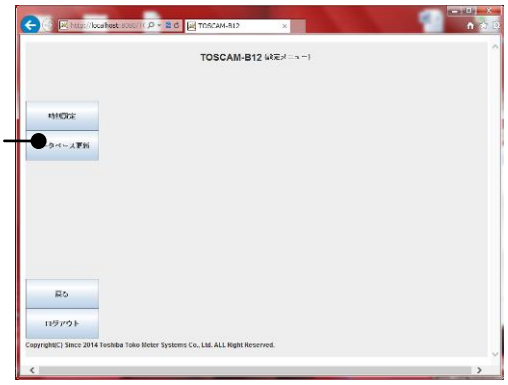
・ローマ数字（「Ⅰ」や「ⅱ」など）、丸囲み数字（「③」など）、カタカナ表記の記号（「㌔」など）、単位記号（「㎏」など）、括弧囲み文字（「㈱」など）等の機種依存文字

9.2.1 設定ツールのダウンロード

パラメータファイルを編集する設定ツールを自動検針装置からダウンロードします。

設定メニューWindow

①「データベース更新」ボタンをクリックしてください。

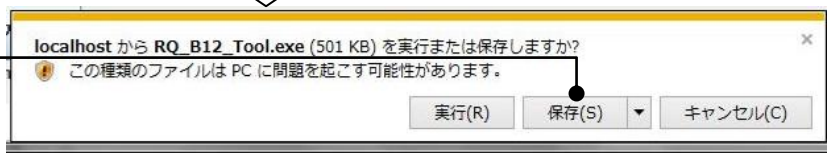


データベース更新 Window

②「設定ツール DL」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニューWindow に戻ります。

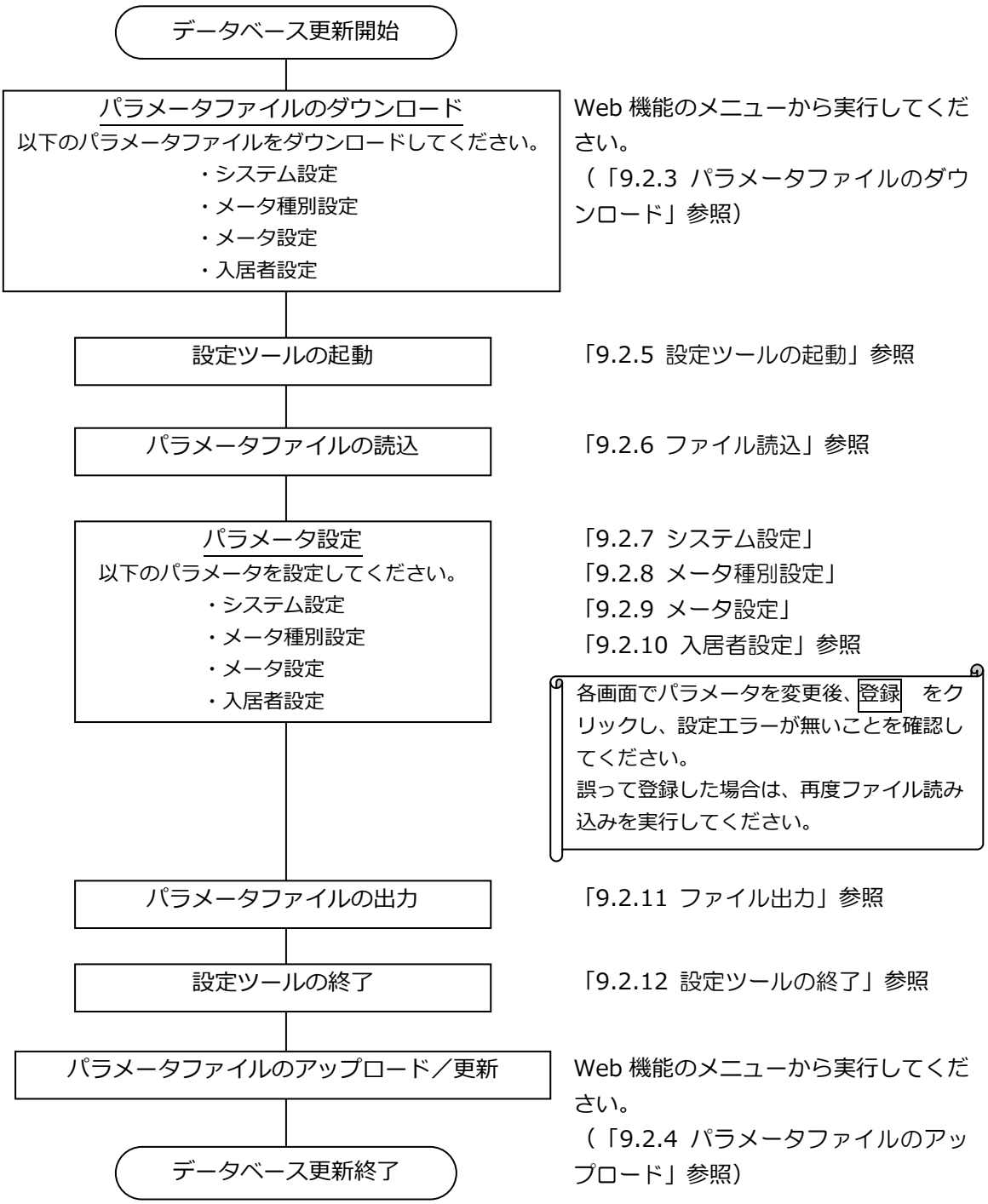
③「保存」ボタンをクリックしてください。



Internet Explorer のバージョンによっては、保存先が固定される場合と保存先の選択画面を表示する場合があります。
保存先の選択画面を表示する場合は、パラメータファイルと同じフォルダに保存してください。

9.2.2　データベースの更新手順

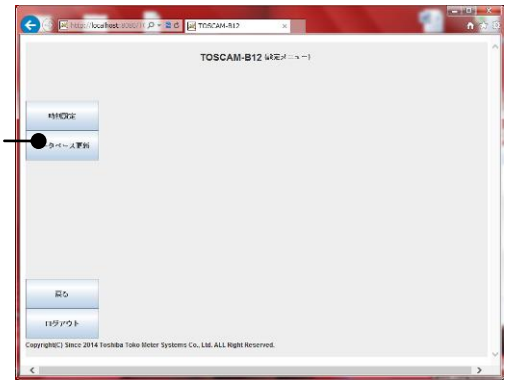
以下の手順でデータベースを更新してください。



9.2.3　パラメータファイルのダウンロード

パラメータファイルを自動検針装置からダウンロードします。

設定メニューWindow



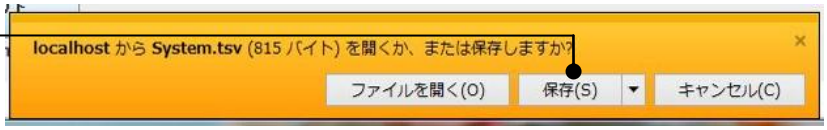
①「データベース更新」ボタンをクリックしてください。

データベース更新 Window

②ダウンロードするデータベースを選択してください。

③「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニューWindow に戻ります。



④「保存」ボタンをクリックしてください。

Internet Explorer のバージョンによっては、保存先が固定される場合と保存先の選択画面を表示する場合があります。
保存先の選択画面を表示する場合は、パラメータファイルと同じフォルダに保存してください。

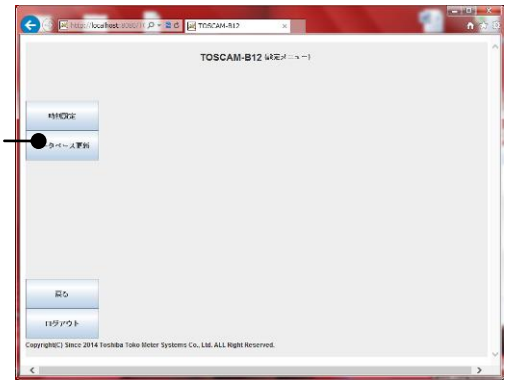
注意

設定ツールを使用する場合は、必ず下記の 4 つのファイルをダウンロードしてください。
４つのファイルがそろわないと設定ツールを起動することができません。
必要なファイル：Meter、Meter_Kind、System、User

9.2.4 パラメータファイルのアップロード

設定ツールで作成したパラメータファイルを自動検針装置本体へアップロードします。

設定メニューWindow



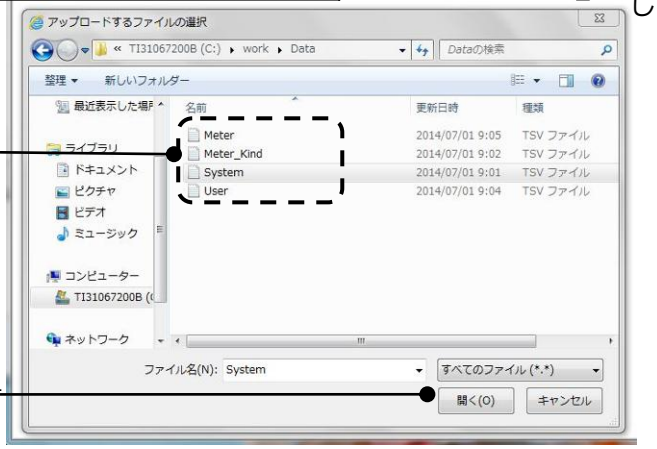
①「データベース更新」ボタンをクリックしてください。

データベース更新 Window

②「アップロード」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニューWindow に戻ります。

③「参照」ボタンをクリックしてください。



④ファイル名をクリックしてください。

⑤「開く」ボタンをクリックしてください。

⑥「アップロード」ボタンをクリックしてください。

⑦完了表示がでたら、Window を消去しデータベース更新 Window に戻ります。

②～⑦の手順を繰り返し、以下の 4 つのファイルを選択してください。

必要なファイル：Meter、Meter_Kind、System、User

> **注意** 上記の 4 つのファイルがそろわないと正常にデータを更新できません。
> 必ず 4 つのファイルに対して②～⑦の手順を実施してください。

次のページへ

4 つのファイルに対して前頁の②～⑦の手順を繰り返してから次の手順に移ってください。

データベース更新 Window

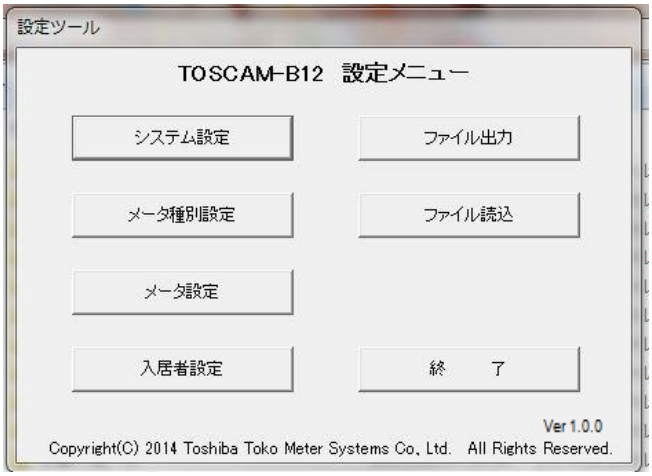
⑧「アップロードデータ更新」ボタンをクリックしてください。

9.2.5　設定ツールの起動

設定ツールをダウンロードしたフォルダの以下のファイルをダブルクリックしてください。

ファイル名：RQ_B12_TOOL.exe

以下の画面が表示されます。



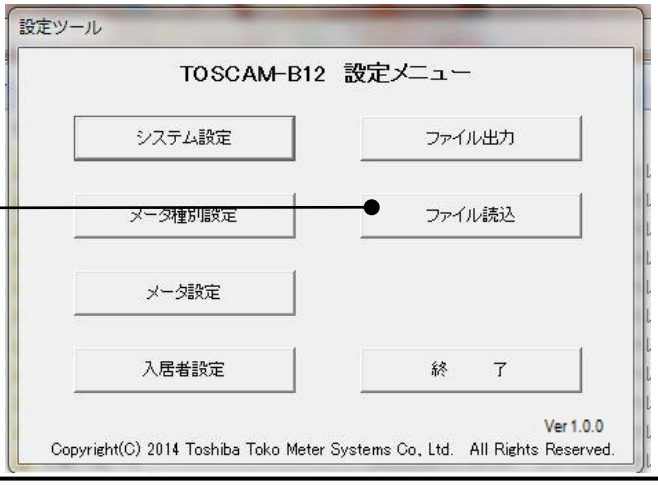
設定ツールには、以下の機能があります。

章	や　り　た　い　こ　と	メニュー名称
9.2.6	パラメータをファイルから読込みます。	ファイル読込
9.2.7	RQ-B12 のシステム設定パラメータを設定します。	システム設定
9.2.8	RQ-B12 のメータ種別設定パラメータを設定します。	メータ種別設定
9.2.9	RQ-B12 のメータ設定パラメータを設定します。	メータ設定
9.2.10	RQ-B12 の入居者設定パラメータを設定します。	入居者設定
9.2.11	パラメータをファイルに出力します。	ファイル出力

9.2.6　ファイル読込

ダウンロードしたパラメータファイルを設定ツールに読み込みます。
（設定ツールの起動時、または「ファイル読込」ボタンをクリックしたとき）

設定メニュー画面



①「ファイル読込」ボタンをクリックしてください。

注意　「ファイル読込」ボタンをクリックすると、それまでに編集したパラメータはすべて破棄されますので、注意してください。

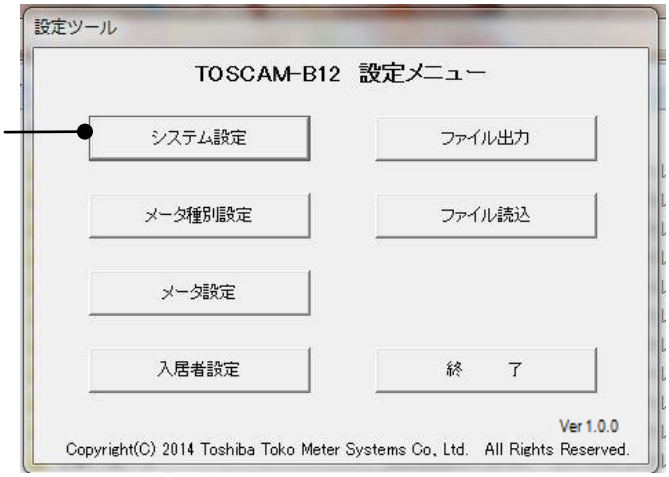
②「はい」ボタンをクリックしてください。

③ファイル読込が正常に完了すると右のメッセージを表示しますので「OK」ボタンをクリックしてください。

9.2.7　システム設定

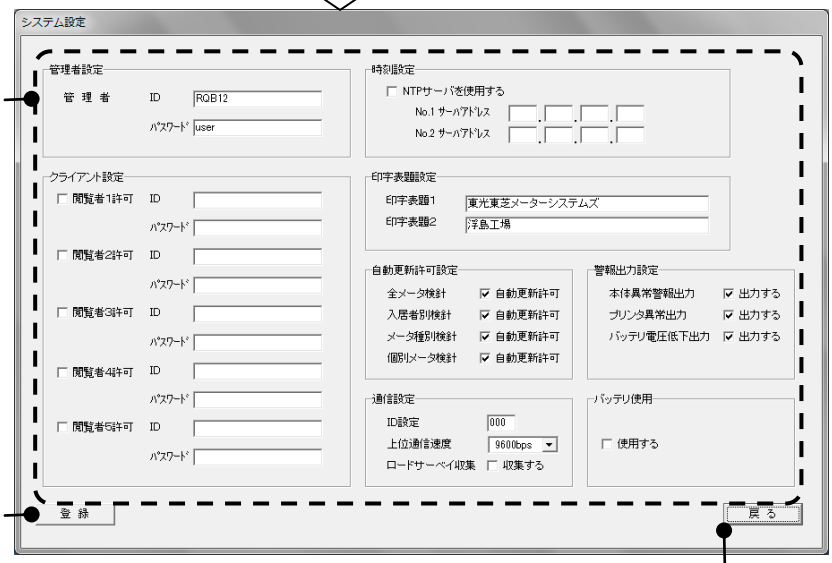
RQ-B12 のシステム設定パラメータを設定します。

設定メニュー画面



①「システム設定」ボタンをクリックしてください。

システム設定画面



②パラメータを入力してください。設定する内容は次ページを参照してください。

③「登録」をクリックしてください。入力内容をチェックします。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニュー画面に戻ります。

④「はい」をクリックしてください。

■管理者設定

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
管理者　ID	管理者の ID	半角英数字 16 文字以内
管理者　パスワード	管理者のパスワード	半角英数字 16 文字以内

■クライアント設定

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
閲覧者許可	閲覧者の閲覧を許可／不許可	☑：閲覧を許可
閲覧者　ID	閲覧者の ID	半角英数字 16 文字以内
閲覧者　パスワード	閲覧者のパスワード	半角英数字 16 文字以内

■時刻設定

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
NTP サーバを使用する	時刻設定に NTP サーバ使用／不使用	☑：NTP サーバ使用
No.1 サーバアドレス	1 番目の NTP サーバの IP アドレス	アドレス設定表参照
No.2 サーバアドレス	2 番目の NTP サーバの IP アドレス	アドレス設定表参照

アドレス設定表

設定項目	設定範囲			
	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目
IP アドレス	001～223	000～255	000～255	000～255

■印字表題設定

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
印字表題 1	使用量表および料金表の印字表題の 1 行目	半角文字は 32 文字以内 全角文字は 16 文字以内
印字表題 2	使用量表および料金表の印字表題の 2 行目	半角文字は 32 文字以内 全角文字は 16 文字以内

■自動更新許可設定

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
全メータ検針	全メータ検針後の自動更新をする／しない	☑：自動更新する
入居者検針	入居者検針後の自動更新をする／しない	☑：自動更新する
メータ種別検針	メータ種別検針後の自動更新をする／しない	☑：自動更新する
個別メータ検針	個別メータ検針後の自動更新をする／しない	☑：自動更新する

■警報出力設定

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
本体異常警報出力	RQ-B12 の異常検出時に警報出力をする／しない	☑：警報出力する
プリンタ異常出力	プリンタ異常検出時に警報出力する／しない	☑：警報出力する
バッテリ電圧低下出力	バッテリの電池電圧低下検出時に警報出力する／しない	☑：警報出力する

■通信設定

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
ID 設定	上位伝送における ID 番号	000～999
上位通信速度	上位伝送の通信速度（bps）	19200/9600/4800
ロードサーベイ収集	30 分データを収集する／しない	☑：30 分データ収集する

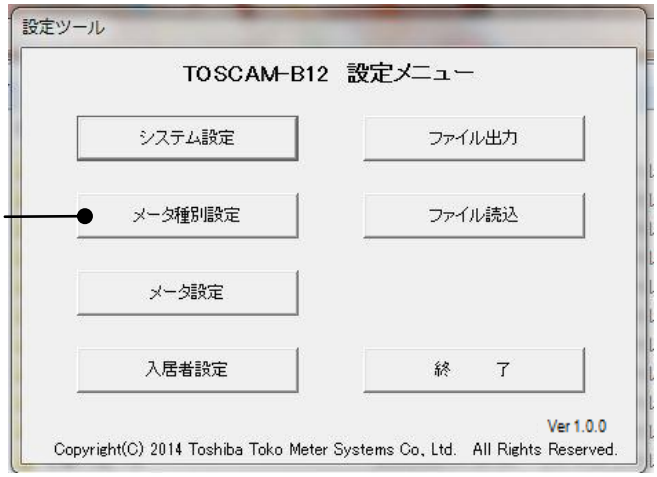
■バッテリ使用

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
バッテリ使用	オプションのバッテリを使用する／しない	☑：バッテリを使用する

9.2.8　メータ種別設定

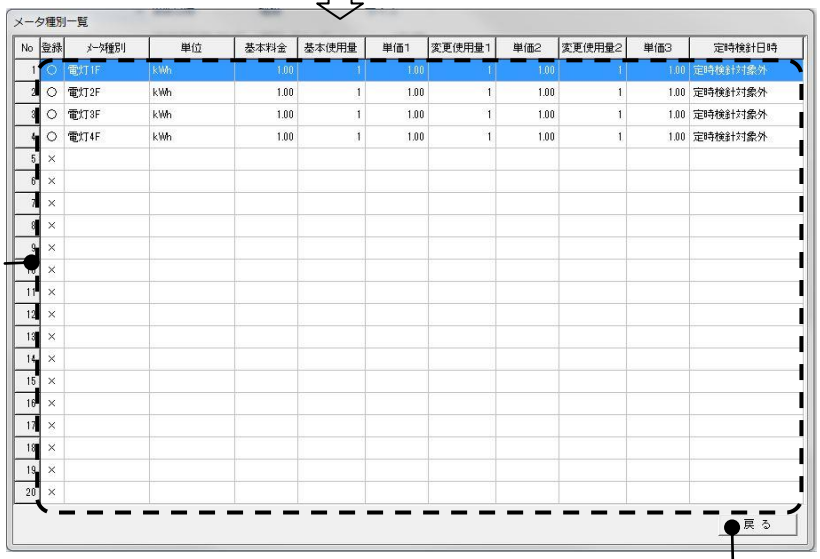
メータ種別設定パラメータを設定します。

設定メニュー画面



①「メータ種別設定」ボタンをクリックしてください。

メータ種別一覧画面

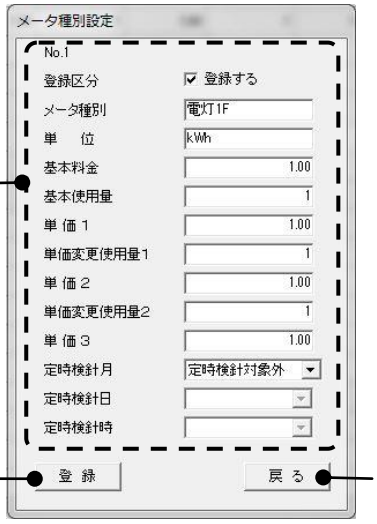


②メータ種別の一覧表が表示されます。

③設定するメータ種別の行をダブルクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニュー画面に戻ります。

メータ種別設定画面



④パラメータを入力してください。設定する内容は次ページを参照してください。

⑤「登録」をクリックしてください。入力内容をチェックします。

「戻る」ボタンをクリックするとメータ種別一覧画面に戻ります。

■設定内容

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
登録区分　※1	メータ種別を登録（使用）する／しない	☑：登録（使用）する
種別名	メータ種別の種別名	半角文字は 10 文字以内 全角文字は 5 文字以内
単位	メータ種別の単位	半角文字は 10 文字以内 全角文字は 5 文字以内
基本料金	メータ種別の基本料金	0.00～99999.99
基本使用量　※2	メータ種別の基本使用量	0～99999
単価 1	メータ種別の単価 1	0.00～99999.99
単価変更使用量 1　※2	メータ種別の単価変更使用量 1	0～99999
単価 2	メータ種別の単価 2	0.00～99999.99
単価変更使用量 2　※2	メータ種別の単価変更使用量 2	0～99999
単価 3	メータ種別の単価 3	0.00～99999.99
定時検針月　※3	定時検針の対象月	定時検針対象外/毎月検針/ 奇数月検針/偶数月検針
定時検針日　※4	定時検針の実施日	1～31
定時検針時	定時検針の実施時	0～23

※1　登録区分　：登録区分を設定しない場合は、種別名・単位等のすべてのパラメータは無視されます。

※2　使用量　　：使用量は以下の条件で設定してください。
基本使用量　≦　単価変更使用量１　≦　単価変更使用量２

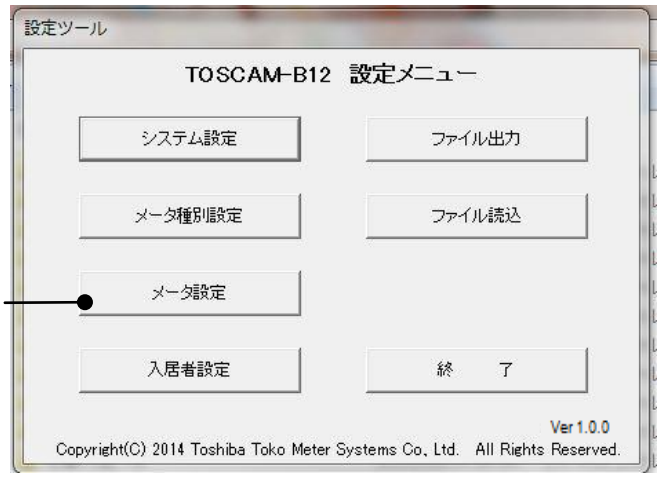
※3　定時検針　：定時検針月を「定時検針対象外」で選択すると、定時検針日および定時検針時の設定は無視されます

※4　定時検針日：定時検針日を月末日以上に設定した場合には、月末日に検針します。
例）31 日に設定した場合の検針日は以下のようになります。
１月３１日
２月２８日（うるう年の場合は２月２９日）
３月３１日
４月３０日
…

9.2.9　メータ設定

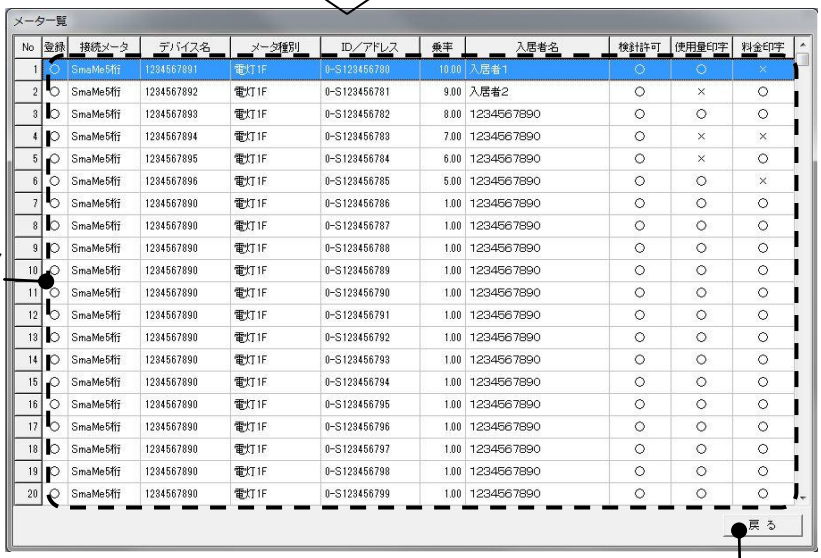
メータ設定パラメータを設定します。

設定メニュー画面



①「メータ設定」ボタンをクリックしてください。

メーター覧画面

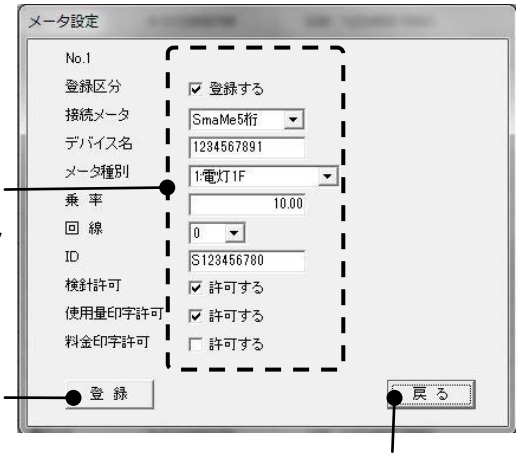


②メータの一覧表が表示されます。

③設定するメータの行をダブルクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニュー画面に戻ります。

メータ設定画面



④パラメータを入力してください。
設定する内容は次ページを参照してください。

⑤「登録」をクリックしてください。
入力内容をチェックします。

「戻る」ボタンをクリックするとメーター覧画面に戻ります。

■設定内容

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
登録区分　※1	メータを登録（使用）する／しない	☑：登録（使用）する
接続メータ名　※2	接続するメータを選択	なし/ SmaMe4 桁/SmaMe5 桁/ RQ-TTEA/RQ-TTE
デバイス名	デバイス名	半角文字は 10 文字以内 全角文字は 5 文字以内
メータ種別	登録されているメータ種別を選択	
乗率	メータの乗率	0.01～100.00
回線	接続するメータの回線を選択	0～3
ID※3	接続メータ名が、SmaMe4 桁または SmaMe5 桁の場合に設定	半角英数字 10 文字
機器アドレス	接続メータ名が、RQ-TTEA または RQ-TTE の場合に TTE の機器アドレスを選択	0～9
メータアドレス	接続メータ名が、RQ-TTEA または RQ-TTE の場合に TTE のメータ端子アドレスを選択	0～9
検針許可	メータを検針対象にする／しない	☑：検針対象にする
使用量印字許可	使用量表に印字する／しない※4	☑：印字する
料金印字許可	料金表に印字する／しない※4	☑：印字する

※1　登録区分　　：登録区分を設定しない場合は、ロードサーベイ収集、検針および読取の対象外となります。

※2　接続メータ名：接続メータ名を「なし」で選択すると、登録区分に関係なく、デバイス名以下の設定は無視されます。
「SmaMe5 桁」「SmaMe4 桁」はそれぞれ表示桁数がそれぞれ 5 桁、4 桁のメータを意味します。（表示桁数が 4 桁は定格が単相 2 線式 30A のみです）

※3　ID　　：ID は計器種別と製造番号から構成されます（詳細は次ページを参照してください）

※4　印字しない　：使用量及び料金を「印字しない」に設定した場合、検針帳票及び読取帳票では空白として表示されます。

■ID について

SmaMe（TypeH）の ID は銘板記載の 10 桁の製造番号です。

SmaMe（TypeM、TypeS）の ID は以下のとおり計器種別と製造番号から構成されます。

製造番号は銘板記載の 7 桁の製造番号です。計器種別については以下のとおりです。

計器の ID 番号＝「計器種別 3 桁」＋「製造番号 7 桁」

＜計器種別＞

1 桁目：S 固定

2 桁目：表 1 のとおり

3 桁目：表 2 のとおり

＜表 1＞

記号	計　器　種　別	
A	単相 2 線式	正方向計量
B	単相 3 線式	正方向計量
C	三相 3 線式	正方向計量
D	単相 2 線式	双方向計量
E	単相 3 線式	双方向計量
F	三相 3 線式	双方向計量

＜表 2＞

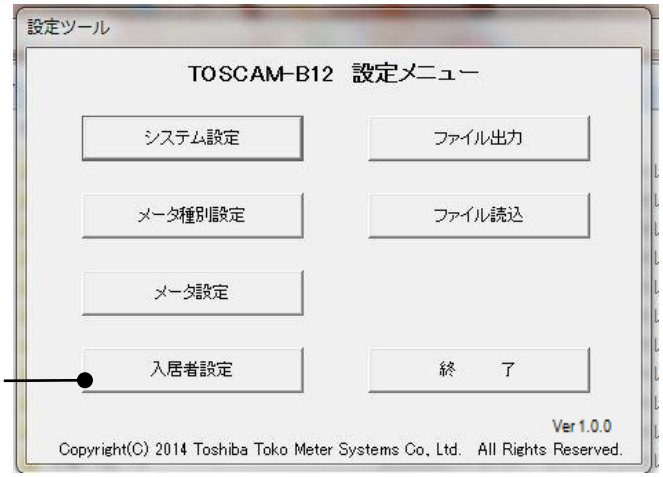
記号	計　器　定　格		
A	100V	30A	単独計器
B	〃	60A	〃
C	〃	120A	〃
D	〃	250A	〃
E	200V	30A	〃
F	〃	60A	〃
G	〃	120A	〃
H	〃	250A	〃
I	63.5V	5A	変成器付計器
J	100V	〃	〃
K	110V	〃	〃
L	200V	〃	〃
M	240V	〃	〃

例：単相 3 線式　正方向　100V　120A　製造番号 SM33021 の場合、ID 番号は SBCSM33021

9.2.10 入居者設定

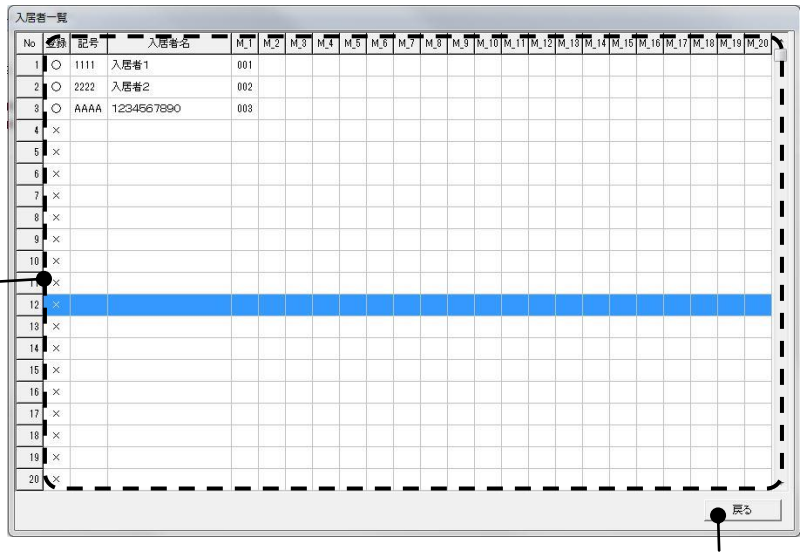
入居者設定パラメータを設定します。

設定メニュー画面



①「入居者設定」ボタンをクリックしてください。

入居者一覧画面

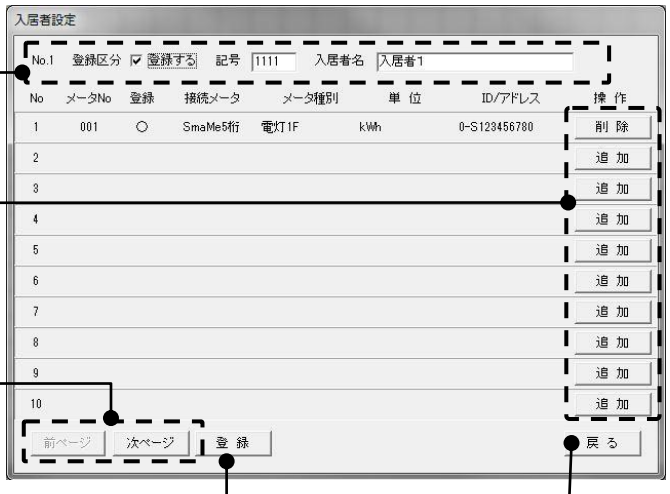


②入居者一覧表が表示されます。入居者に登録されているメータのメータ No.が表示されます。

③設定する入居者の行をダブルクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックすると設定メニュー画面に戻ります。

入居者設定画面



④パラメータを入力してください。設定する内容は次ページを参照してください。

⑤登録するメータを追加や削除する場合には「追加」、「削除」ボタンをクリックしてください。

⟹ 次ページへ

⑥「次ページ」「前ページ」ボタンをクリックすると、次の 10 台、前の 10 台のメータを表示します。

⑦「登録」をクリックしてください。入力内容をチェックします。

「戻る」ボタンをクリックすると入居者一覧画面に戻ります。

■設定内容

パラメータ	パラメータの説明	設定範囲
登録区分　※1	入居者を登録（使用）する／しない	☑：登録（使用）する
記号	入居者を識別する記号	半角英数字 4 文字以内
入居者名	入居者名	半角文字は 20 文字以内 全角文字は 10 文字以内

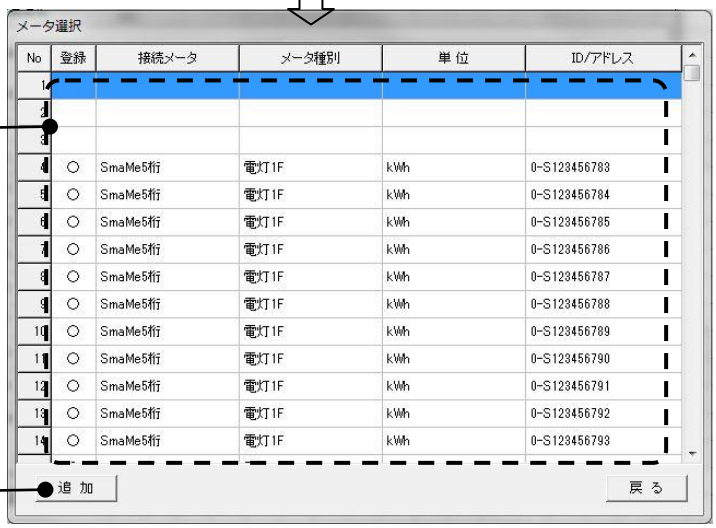
※1　登録区分：登録区分を設定しない場合は、記号および入居者名の設定は無視されます。

■登録するメータを追加する場合

入居者設定画面

入居者設定
No.1 登録区分 登録する 記号 1111 入居者名 入居者1
No メータNo 登録 接続メータ メータ種別 単 位 ID/アドレス 操 作
1 001 SmaMe5桁 電灯1F kWh 0-S123456780 削 除
追 加
前ページ 次ページ 登 録 戻 る

①「追加」ボタンをクリックしてください。



②メータが一覧表示されます。

③登録するメータの行をクリックしてください。

④「追加」ボタンをクリックしてください。

選択したメータを追加できる場合

⑤「はい」ボタンをクリックしてください。

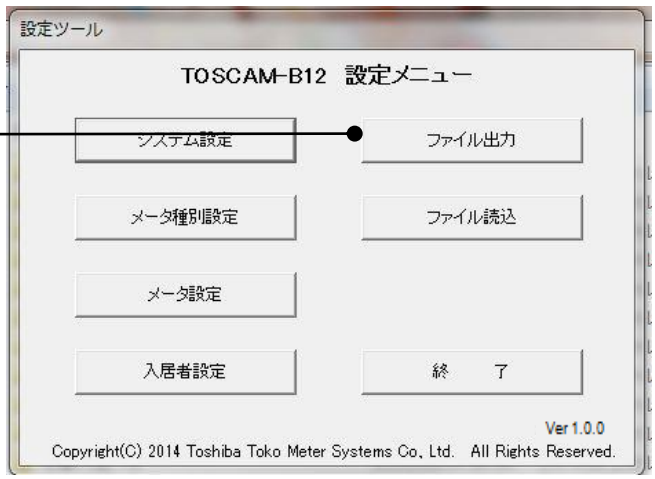
選択したメータが既に他の入居者に登録されている場合

「OK」ボタンをクリックし、他のメータを選択してください。

9.2.11 ファイル出力

設定ツールで設定したパラメータをファイルに出力します。

設定メニュー画面



①「ファイル出力」ボタンをクリックしてください。

②「はい」ボタンをクリックしてください。

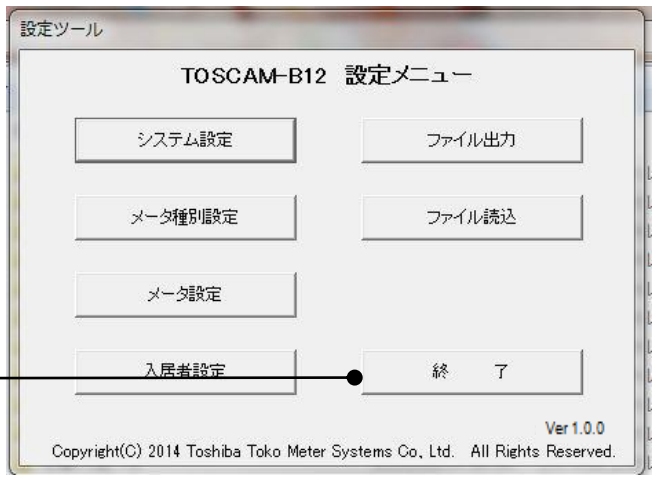
③ファイル出力が正常に完了すると右のメッセージを表示しますので「OK」ボタンをクリックしてください。

出力したファイルは設定ツールと同じフォルダに保存されます。

9.2.12 設定ツールの終了

設定ツールを終了します。

設定メニュー画面



①「終了」ボタンをクリックしてください。

②「はい」ボタンをクリックしてください。

設定ツールが終了します。

10. グラフ

ロードサーベイデータを収集するに設定していると、使用量の日データ（30 分ごとのデータ）、月データ（1 日ごとのデータ）、年データ（1 か月ごとのデータ）をグラフおよび一覧表を PDF 形式で表示することができます。

10.1. 日データ

30 分ごとの使用量および積算値のグラフと一覧表を 1 日分 PDF 形式で表示します。2 日分のデータを 1 画面に比較表示することもできます。

グラフメニューWindow

①「日データ」ボタンをクリックしてください。

日データ Window

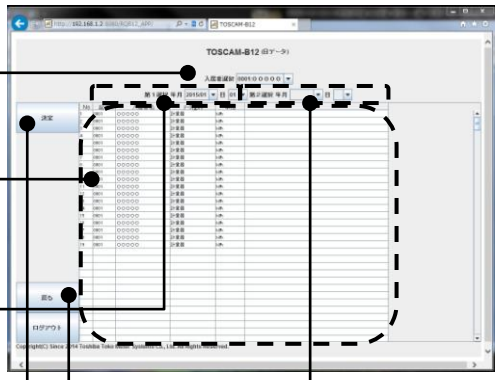
②表示するメータの入居者を選択してください。

③選択された入居者に登録しているメータが一覧表示されますので、表示するメータの行をクリックしてください。

④表示する年月日を選択してください。（第 1 選択）

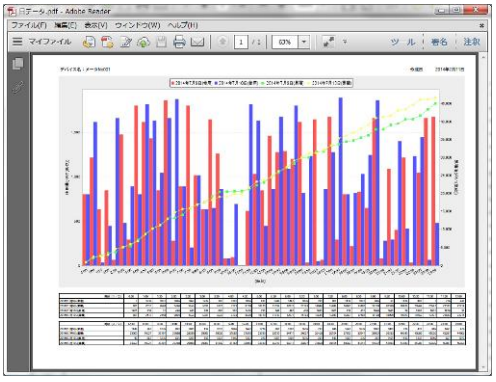
⑤2 つのデータを比較する場合は第 2 選択の年月日を選択してください。

⑥「決定」ボタンをクリックしてください。



「戻る」ボタンをクリックするとグラフメニューWindow に戻ります。

⑦日データが別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。



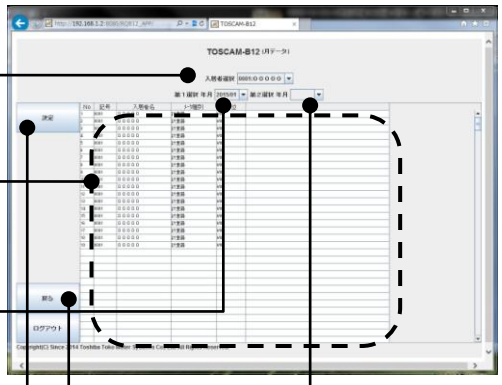
10.2. 月データ

1 日ごとの使用量および積算値のグラフと一覧表を 1 か月分 PDF 形式で表示します。2 か月分のデータを 1 画面に比較表示することもできます。

グラフメニューWindow

①「月データ」ボタンをクリックしてください。

月データ Window



②表示するメータの入居者を選択してください。

③選択された入居者に登録しているメータが一覧表示されますので、表示するメータの行をクリックしてください。

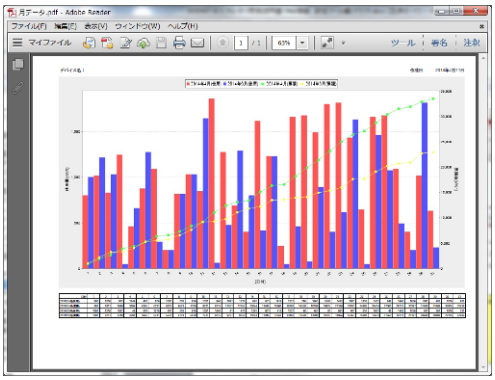
④表示する年月を選択してください。（第 1 選択）

⑤2 つのデータを比較する場合は第 2 選択の年月を選択してください。

⑥「決定」ボタンをクリックしてください。

「戻る」ボタンをクリックするとグラフメニューWindow に戻ります。

⑦月データが別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。



10.3. 年データ

１か月ごとの使用量および積算値のグラフと一覧表を１年分 PDF 形式で表示します。2 年分のデータを 1 画面に比較表示することもできます。

グラフメニューWindow

①「年データ」ボタンをクリックしてください。

年データ Window

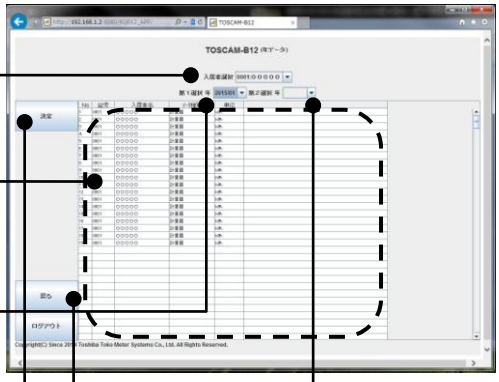
②表示するメータの入居者を選択してください。

③選択された入居者に登録しているメータが一覧表示されますので、表示するメータの行をクリックしてください。

④表示する年を選択してください。(第 1 選択)

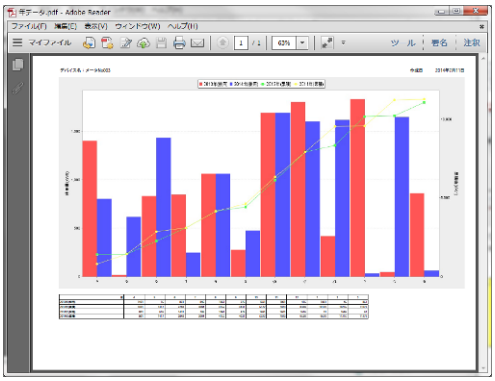
⑤2 つのデータを比較する場合は第 2 選択の年を選択してください。

⑥「決定」ボタンをクリックしてください。



「戻る」ボタンをクリックするとグラフメニューWindow に戻ります。

⑦年データが別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。



11. 帳票、ダウンロード

検針、日報、月報の帳票を PDF 形式で表示します。また、データファイルをダウンロードすることができます。

11.1. 検針

検針は管理者でログインしたときのみ実施することができます。

検針データの帳票を PDF 形式で表示します。また、データファイルをダウンロードすることができます。

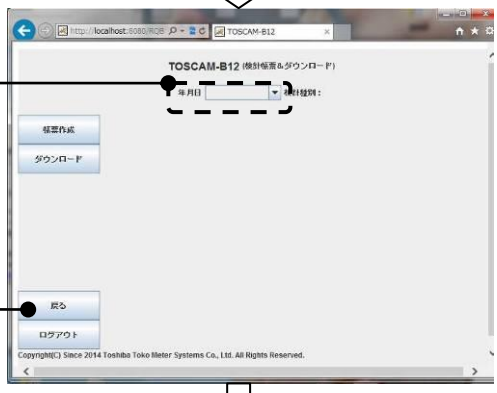
帳票、ダウンロードメニューWindow

①「検針」ボタンをクリックしてください。

検針帳票、ダウンロードメニューWindow

②検針した年月日を選択してください。

「戻る」ボタンをクリックすると帳票・ダウンロードメニューWindow に戻ります。

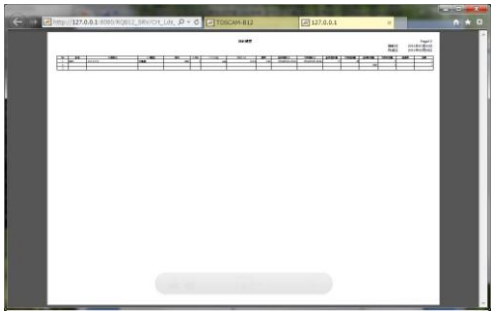


③選択した年月日に実施した検針の種別が表示されます。

④「帳票作成」ボタンをクリックしてください。

⑤検針データをダウンロードする場合は「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。詳細は付録のファイル形式を参照してください。

⑥帳票データが別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。



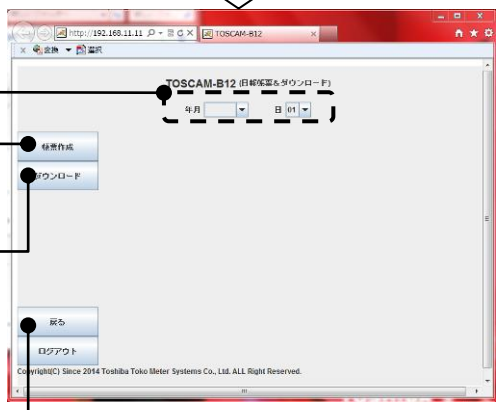
11.2. 日報

日報の帳票を PDF 形式で表示します。また、データファイルをダウンロードすることができます。

帳票、ダウンロードメニューWindow

①「日報」ボタンをクリックしてください。

日報帳票、ダウンロードメニューWindow

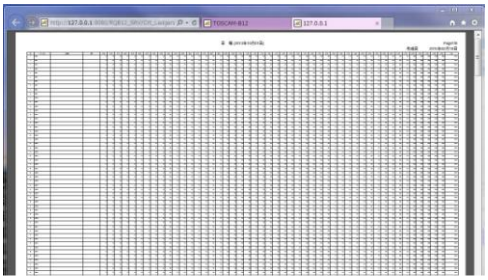


②年月日を選択してください。

③「帳票作成」ボタンをクリックしてください。

④日報データをダウンロードする場合は「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
詳細は付録のファイル形式を参照してください。

「戻る」ボタンをクリックすると帳票・ダウンロードメニューWindow に戻ります。



⑤帳票データが別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

> 日報を出力するには、「ロードサーベイを収集する」に設定しておく必要があります。

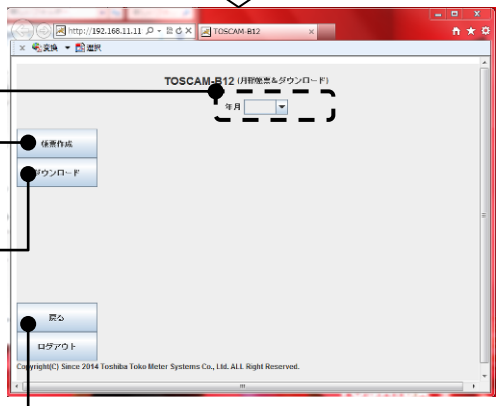
11.3. 月報

月報の帳票を PDF 形式で表示します。また、データファイルをダウンロードすることができます。

帳票、ダウンロードメニューWindow

①「月報」ボタンをクリックしてください。

月報帳票、ダウンロードメニューWindow

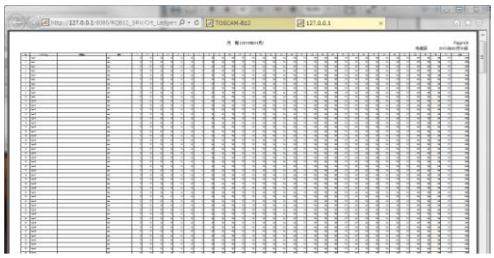


②年月を選択してください。

③「帳票作成」ボタンをクリックしてください。

④月報データをダウンロードする場合は「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。詳細は付録のファイル形式を参照してください。

「戻る」ボタンをクリックすると帳票・ダウンロードメニューWindow に戻ります。



⑤帳票データが別 Window に PDF ファイル形式で表示されます。

> 月報を出力するには、「ロードサーベイを収集する」に設定しておく必要があります。

12. 困ったときは

12.1. 基本動作、検針動作

症状	調査項目	対処方法
指定メータの一部または全部が検針できない。	・検針したいメータは検針許可になっていますか？	・弊社サービス店にご連絡ください 検針許可設定を行います。
検針帳票で指針値が空白で表示されているメータがある。	・該当メータの検針値を確認してください。 （検針エラーのあったメータについて検針値の修正が行われていません。）	・正しい検針値を設定してください。 設定方法については以下を参照願います。 ・8.3章　検針値設定・確認 ・「取扱説明書　本体編」　10.3章 検針値設定・確認
「使用量」、「料金」が表示されない	・使用量印字禁止、料金表印字禁止にしていませんか？ （使用量印字禁止、料金表印字禁止に設定している場合､表示は空白になります。）	・メータ設定内容を確認し、許可に設定してください。 設定方法については以下を参照願います。 ・9.2 章　データベース更新 ・「取扱説明書　本体編」　11.2 章 システム設定
設定したパスワードを忘れてパスワード画面から先に進まない。		・ご購入先にご連絡ください。

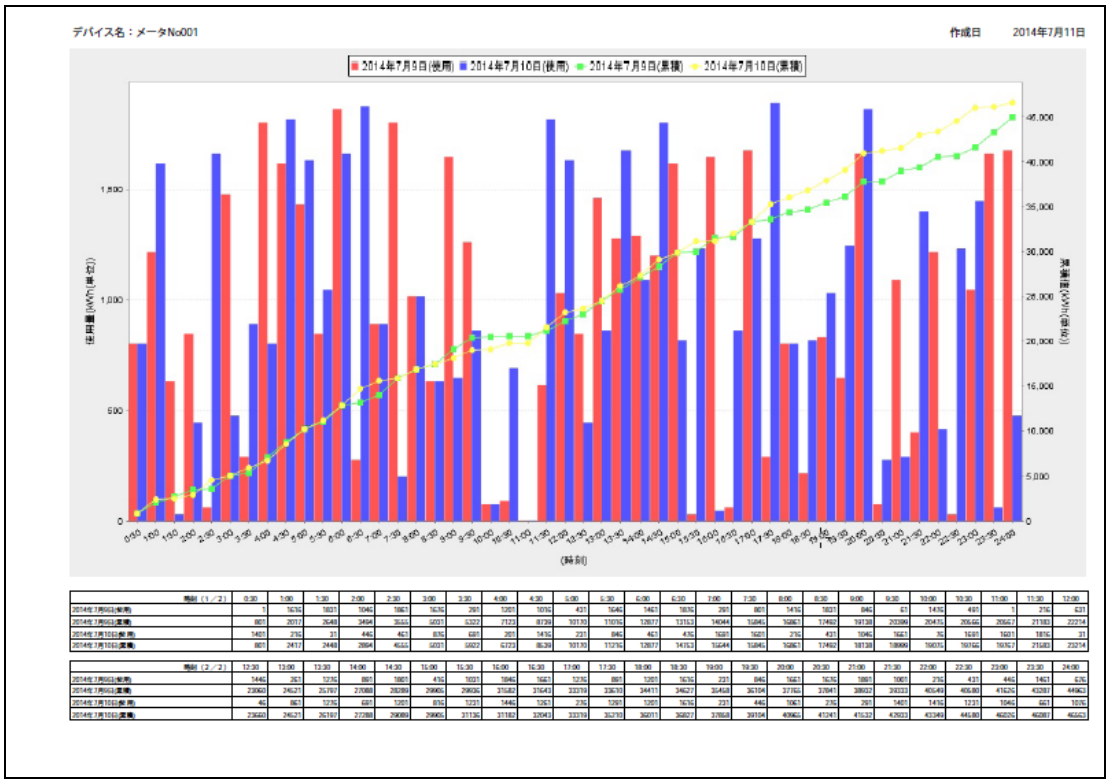
12.2. エラー画面

表示	調査項目	対処方法
「通信が失敗しました。もう一度やり直してください。」	・ネットワークケーブルの抜けはありませんか？	・ネットワークケーブル等の抜けがあった場合は、挿し直し後、ブラウザを再立ち上げして、ログインからやり直してください。
「XX 時 XX 分に検針済みです。1 日に 2 回の検針はできません。」	・本日、既に検針を行っていませんか？	・本日は既に検針を行っていますので同じ日に 2 回以上の検針はできません。
「＊＊＊がアップロードされていません。アップロード後、もう一度やり直してください。」	・＊＊＊に該当するファイルのアップロードを忘れていませんか？	・＊＊＊に該当するファイルをアップロードして、再度、「アップロードデータ更新」を行ってください。
「＊＊＊に誤りがあります。設定ツールで確認してください。」	・＊＊＊に該当するファイルの内容に誤りはありませんか？	・＊＊＊に該当するファイルを設定ツールで読み込みをして内容が正しいか確認後、出力されたファイルをアップロードからやり直してください。
「本体作業中のため、しばらくおまちください。」	・本体のパネル PC でログインしていませんか？ ・毎時検針時刻、定時検針時刻ではありませんか？	・本体のパネル PC で画面ロックしてから、ログインしてください。 ・定時検針、毎時検針が終わったと思われる時刻にログインしてください。
「優先処理実施中のため、しばらくおまちください」 ※下線部は実施内容によって変わります。	・毎時検針時刻、定時検針時刻ではありませんか？	・定時検針、毎時検針が終わったと思われる時刻に再度実施してください。
「上位端末通信中のため中断しました。しばらく待ってから再度実行してください。」	・上位端末の通信時刻ではありませんか？	・上位端末の通信が終わったと思われる時刻に再度実施してください。
「ＰＤＦもしくはファイル作成中です、しばらくおまちください。 本表示が続く場合は、メニュー画面から操作をやり直してください。」	・PDF の表示中、ファイルのダウンロード中ではありませんか？ ・PDF 表示中、ファイルのダウンロード中にブラウザを閉じませんでしたか？	・PDF の表示完了、ファイルのダウンロード後に再度実施してください。 <表示が継続する場合> ・グラフメニュー画面または帳票＆ダウンロードメニューに戻ってから再度操作を行ってください。
ログイン時「時計がリセットされました。時刻設定を行ってください。」		・検針を行う前に必ず「時刻設定」メニューで現在時刻を設定してください。今まで検針したデータをファイル出力できない場合があります。

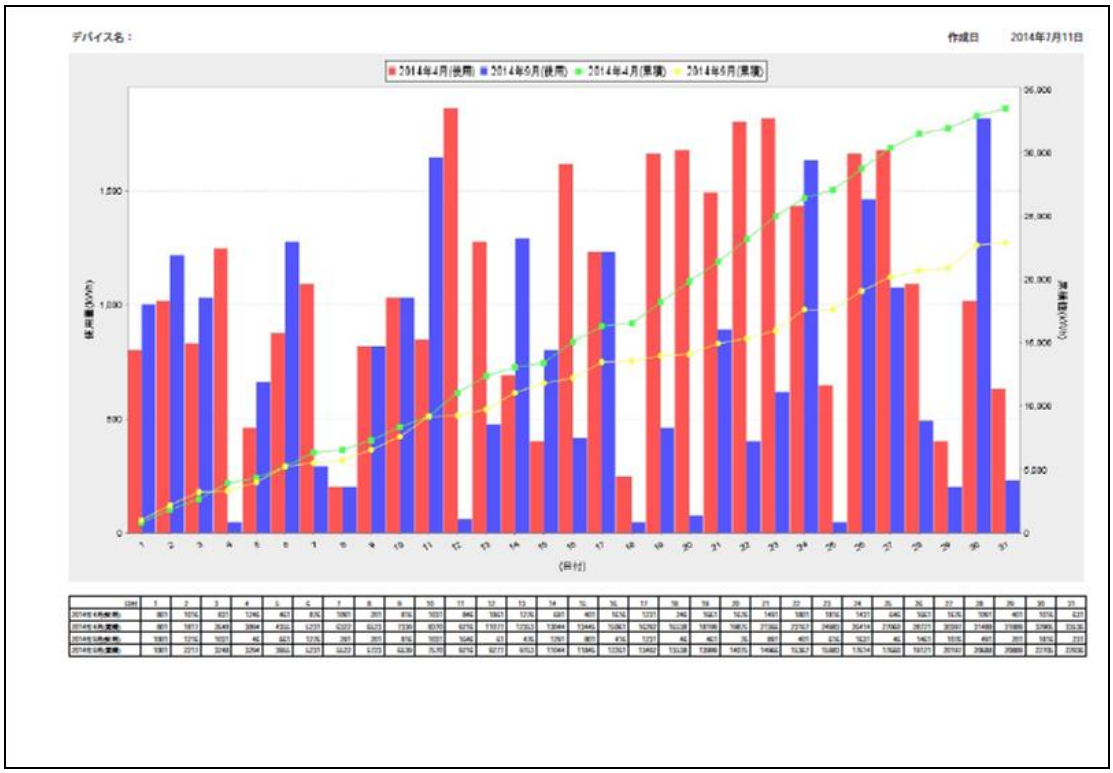
＜付録＞

■グラフ例

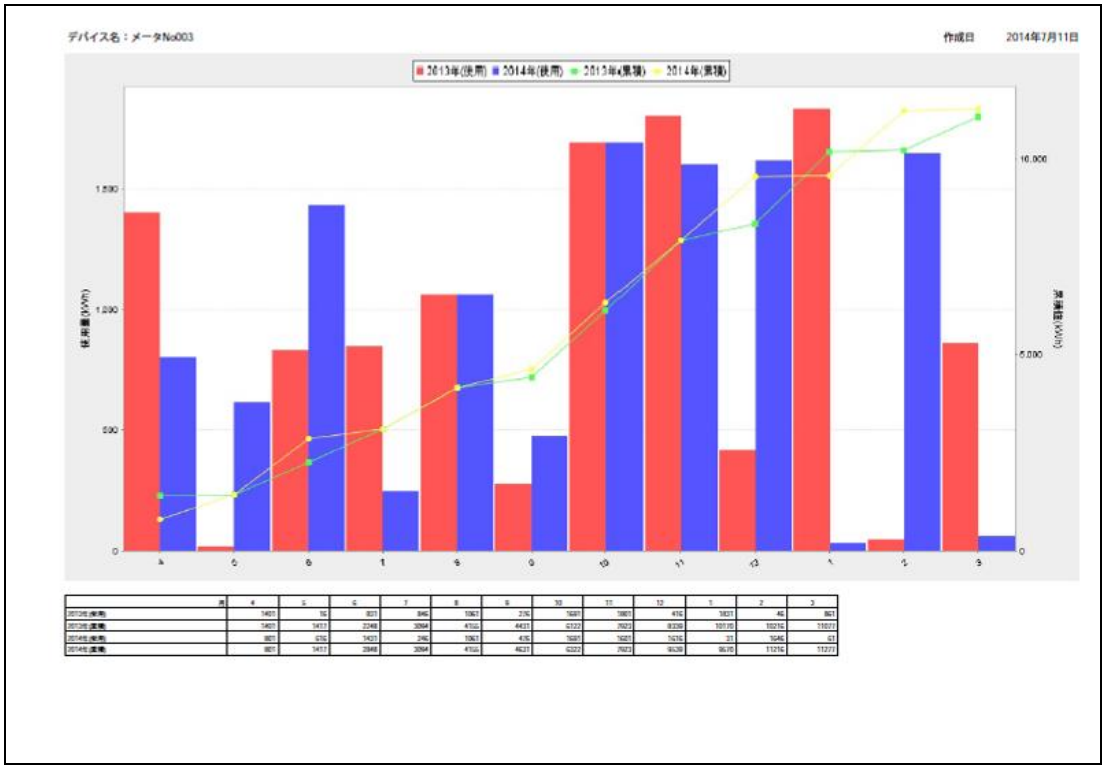
日データ



月データ

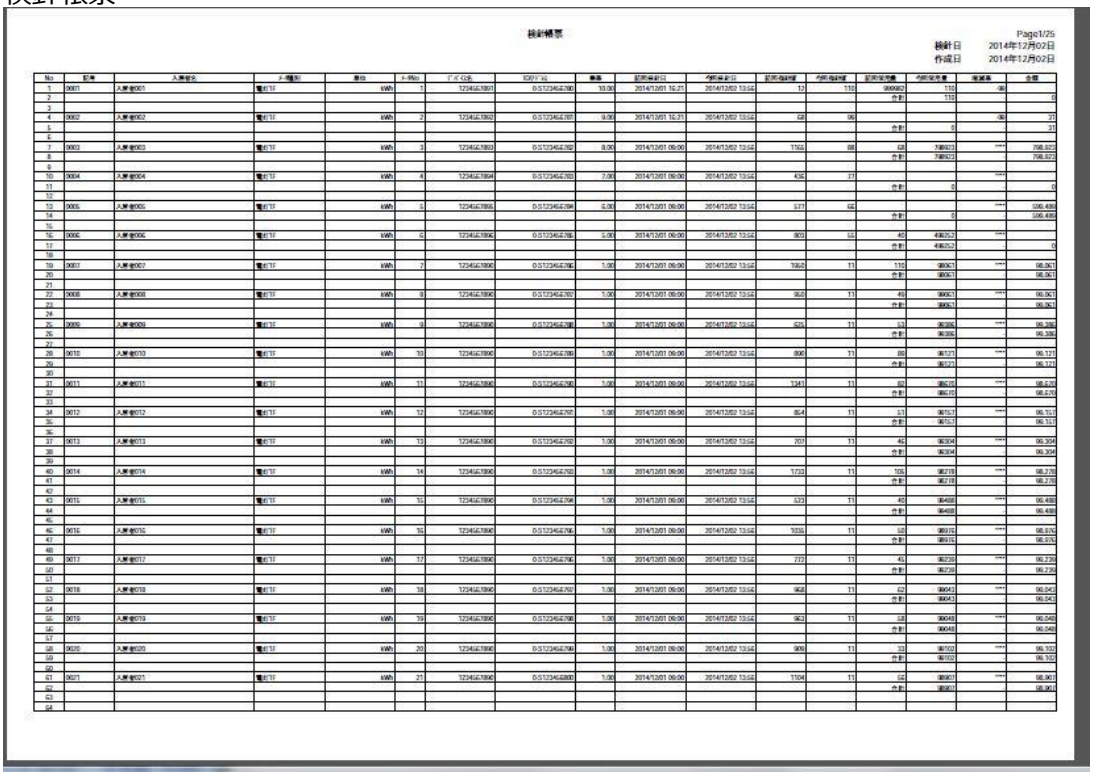


年データ


デバイス名：メータNo003
作成日　2014年7月11日
2013年(使用)
2014年(使用)
2013年(累積)
2014年(累積)

■帳票例

検針帳票

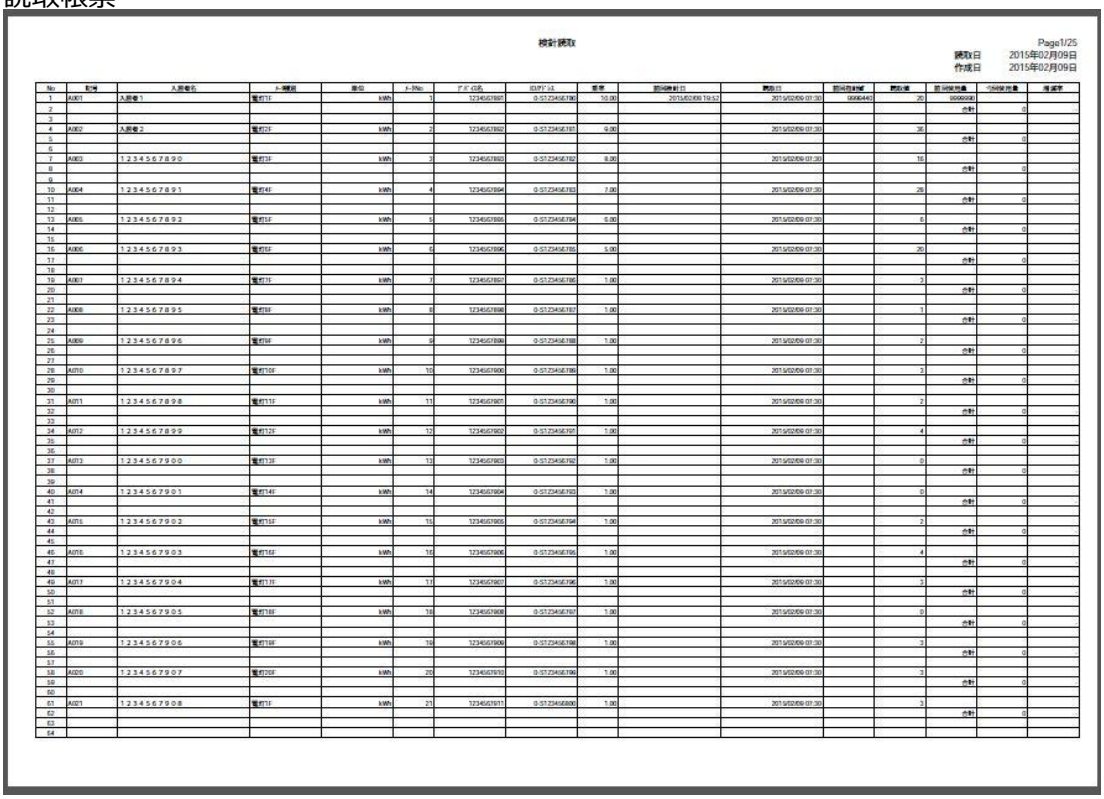


検針帳票

Page1/25
検針日　2014年12月02日
作成日　2014年12月02日

No	記号	入居者名	メータ種別	単位	メータNo	アドレス名	IDアドレス	乗率	前回検針日	今回検針日	前回指針値	今回指針値	前回使用量	今回使用量	増減量	金額
1	0001	入居者001	電灯1F	kWh	1	12345678901	0-S12345678	10.00	2014/12/01 16:21	2014/12/02 13:54	17	110	930920	110	-99	
2													合計	110		0
3																
4	0002	入居者002	電灯1F	kWh	2	12345678902	0-S12345678	9.00	2014/12/01 16:21	2014/12/02 13:54	68	96			-99	31
5													合計	0		31
6																
7	0003	入居者003	電灯1F	kWh	3	12345678903	0-S12345678	8.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	1765	88	68	748933	****	798,822
8													合計	748933		798,822
9																
10	0004	入居者004	電灯1F	kWh	4	12345678904	0-S12345678	7.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	436	77			****	
11													合計	0		0
12																
13	0005	入居者005	電灯1F	kWh	5	12345678905	0-S12345678	6.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	577	62			****	186,486
14													合計	0		186,486
15																
16	0006	入居者006	電灯1F	kWh	6	12345678906	0-S12345678	5.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	803	52	40	438252	****	
17													合計	438252		0
18																
19	0007	入居者007	電灯1F	kWh	7	12345678907	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	1965	11	110	89067	****	98,967
20													合計	89067		98,967
21																
22	0008	入居者008	電灯1F	kWh	8	12345678908	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	965	11	49	89017	****	99,361
23													合計	89017		99,361
24																
25	0009	入居者009	電灯1F	kWh	9	12345678909	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	635	11	53	88286	****	99,386
26													合計	88286		99,386
27																
28	0010	入居者010	電灯1F	kWh	10	12345678910	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	890	11	88	88171	****	99,171
29													合計	88171		99,171
30																
31	0011	入居者011	電灯1F	kWh	11	12345678911	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	1341	11	60	88618	****	98,678
32													合計	88618		98,678
33																
34	0012	入居者012	電灯1F	kWh	12	12345678912	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	854	11	51	88151	****	99,151
35													合計	88151		99,151
36																
37	0013	入居者013	電灯1F	kWh	13	12345678913	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	701	11	45	88304	****	99,304
38													合計	88304		99,304
39																
40	0014	入居者014	電灯1F	kWh	14	12345678914	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	1733	11	155	88716	****	98,716
41													合計	88716		98,716
42																
43	0015	入居者015	電灯1F	kWh	15	12345678915	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	533	11	45	88488	****	99,488
44													合計	88488		99,488
45																
46	0016	入居者016	電灯1F	kWh	16	12345678916	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	1035	11	93	88816	****	98,916
47													合計	88816		98,916
48																
49	0017	入居者017	電灯1F	kWh	17	12345678917	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	773	11	45	88738	****	98,738
50													合計	88738		98,738
51																
52	0018	入居者018	電灯1F	kWh	18	12345678918	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	968	11	62	89043	****	99,043
53													合計	89043		99,043
54																
55	0019	入居者019	電灯1F	kWh	19	12345678919	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	963	11	58	89048	****	99,048
56													合計	89048		99,048
57																
58	0020	入居者020	電灯1F	kWh	20	12345678920	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	909	11	33	89103	****	99,103
59													合計	89103		99,103
60																
61	0021	入居者021	電灯1F	kWh	21	12345678921	0-S12345678	1.00	2014/12/01 09:00	2014/12/02 13:54	1104	11	54	88901	****	98,901
62													合計	88901		98,901
63																
64																

読取帳票

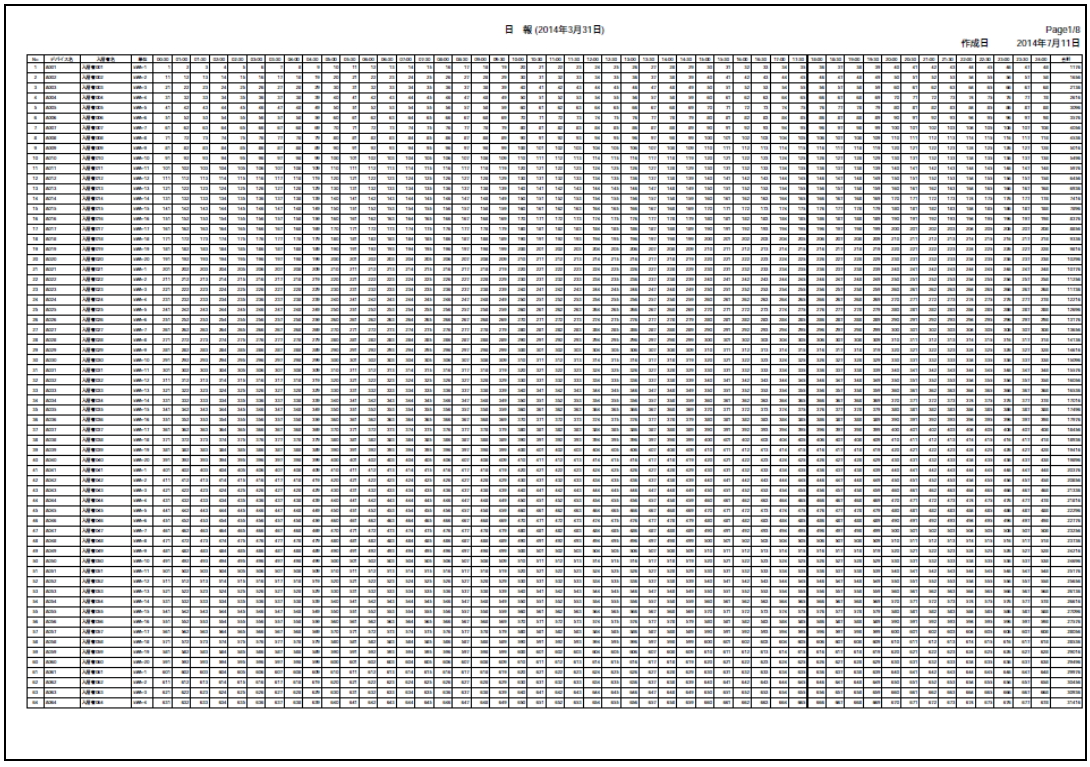


検針読取

Page1/25
読取日　2015年02月09日
作成日　2015年02月09日

No	記号	入居者名	メータ種別	単位	メータNo	アドレス名	IDアドレス	乗率	前回検針日	読取日	前回指針値	読取値	前回使用量	今回使用量	増減率
1	A001	入居者１	電灯1F	kWh	1	12345678901	0-S12345678	10.00	2015/02/09 19:52	2015/02/09 07:30	9986440	20	9986690		
2													合計	0	
3															
4	A002	入居者２	電灯2F	kWh	2	12345678902	0-S12345678	9.00		2015/02/09 07:30		35			
5													合計	0	
6															
7	A003	１２３４５６７８９０	電灯3F	kWh	3	12345678903	0-S12345678	8.00		2015/02/09 07:30		16			
8													合計	0	
9															
10	A004	１２３４５６７８９１	電灯4F	kWh	4	12345678904	0-S12345678	7.00		2015/02/09 07:30		25			
11													合計	0	
12															
13	A005	１２３４５６７８９３	電灯5F	kWh	5	12345678905	0-S12345678	6.00		2015/02/09 07:30		6			
14													合計	0	
15															
16	A006	１２３４５６７８９３	電灯6F	kWh	6	12345678906	0-S12345678	5.00		2015/02/09 07:30		20			
17													合計	0	
18															
19	A007	１２３４５６７８９４	電灯7F	kWh	7	12345678907	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
20													合計	0	
21															
22	A008	１２３４５６７８９５	電灯8F	kWh	8	12345678908	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
23													合計	0	
24															
25	A009	１２３４５６７８９６	電灯9F	kWh	9	12345678909	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		2			
26													合計	0	
27															
28	A010	１２３４５６７８９７	電灯10F	kWh	10	12345678910	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
29													合計	0	
30															
31	A011	１２３４５６７８９８	電灯11F	kWh	11	12345678911	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
32													合計	0	
33															
34	A012	１２３４５６７８９９	電灯12F	kWh	12	12345678912	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		4			
35													合計	0	
36															
37	A013	１２３４５６７９００	電灯13F	kWh	13	12345678913	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		0			
38													合計	0	
39															
40	A014	１２３４５６７９０１	電灯14F	kWh	14	12345678914	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		0			
41													合計	0	
42															
43	A015	１２３４５６７９０２	電灯15F	kWh	15	12345678915	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		2			
44													合計	0	
45															
46	A016	１２３４５６７９０３	電灯16F	kWh	16	12345678916	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		4			
47													合計	0	
48															
49	A017	１２３４５６７９０４	電灯17F	kWh	17	12345678917	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
50													合計	0	
51															
52	A018	１２３４５６７９０５	電灯18F	kWh	18	12345678918	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		0			
53													合計	0	
54															
55	A019	１２３４５６７９０６	電灯19F	kWh	19	12345678919	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
56													合計	0	
57															
58	A020	１２３４５６７９０７	電灯20F	kWh	20	12345678920	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
59													合計	0	
60															
61	A021	１２３４５６７９０８	電灯21F	kWh	21	12345678921	0-S12345678	1.00		2015/02/09 07:30		3			
62													合計	0	
63															
64															

日報帳票

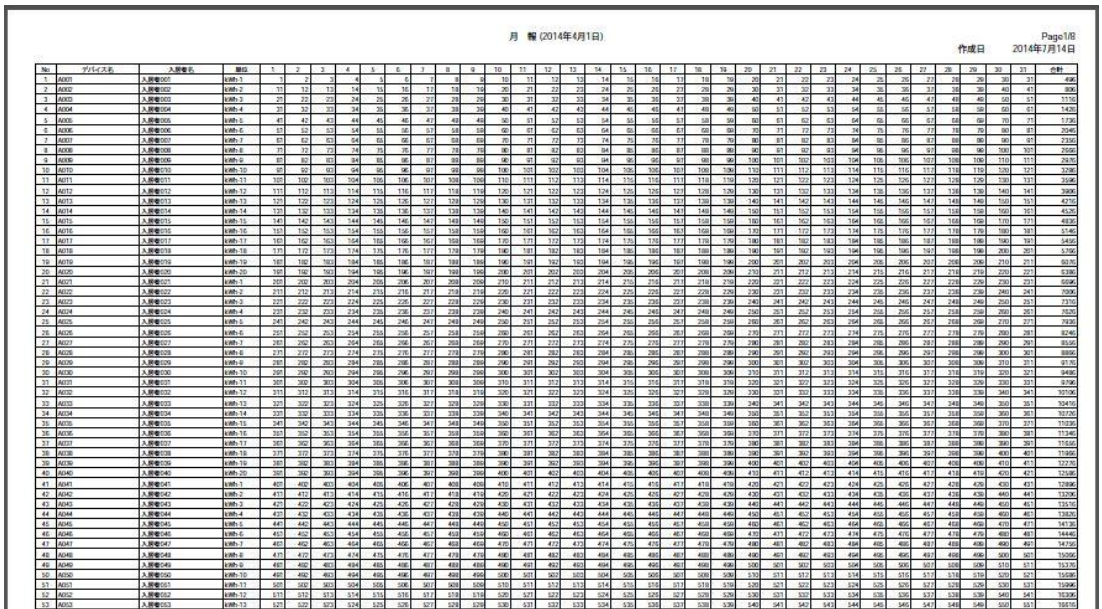


日　報 (2014年3月31日)

Page1/8

作成日　2014年7月11日

月報帳票

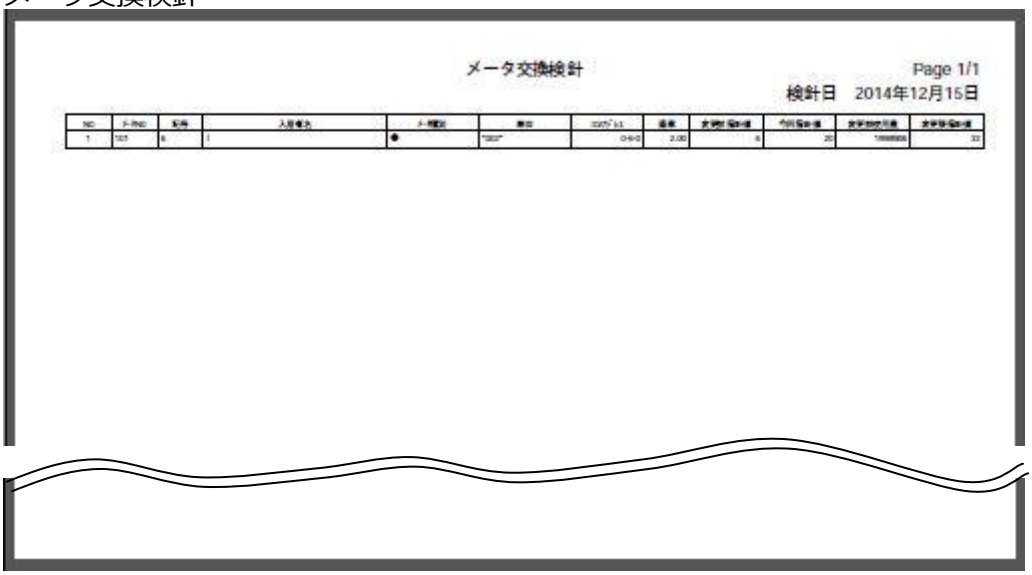


月　報 (2014年4月1日)

Page1/8

作成日　2014年7月14日

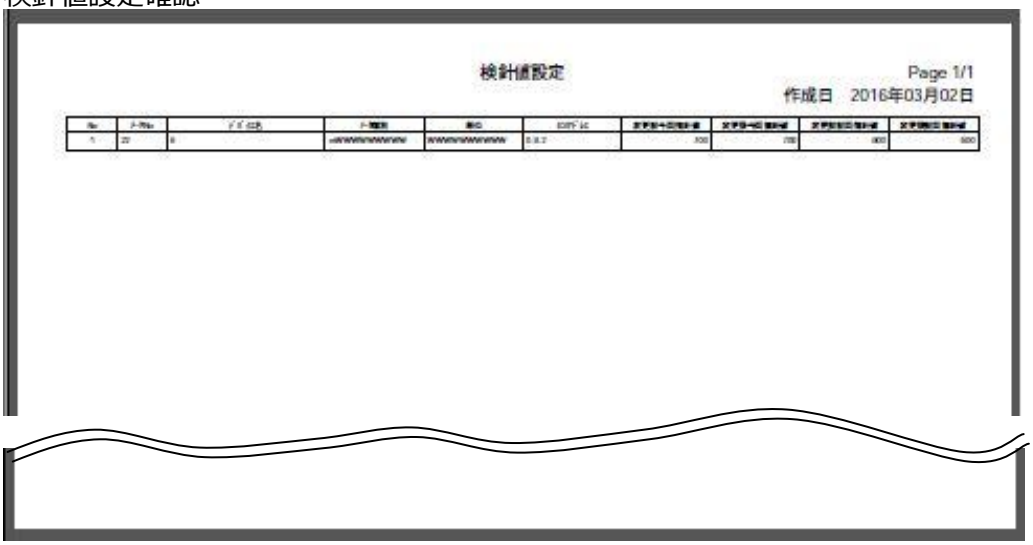
メータ交換検針


メータ交換検針

Page 1/1

検針日　2014年12月15日

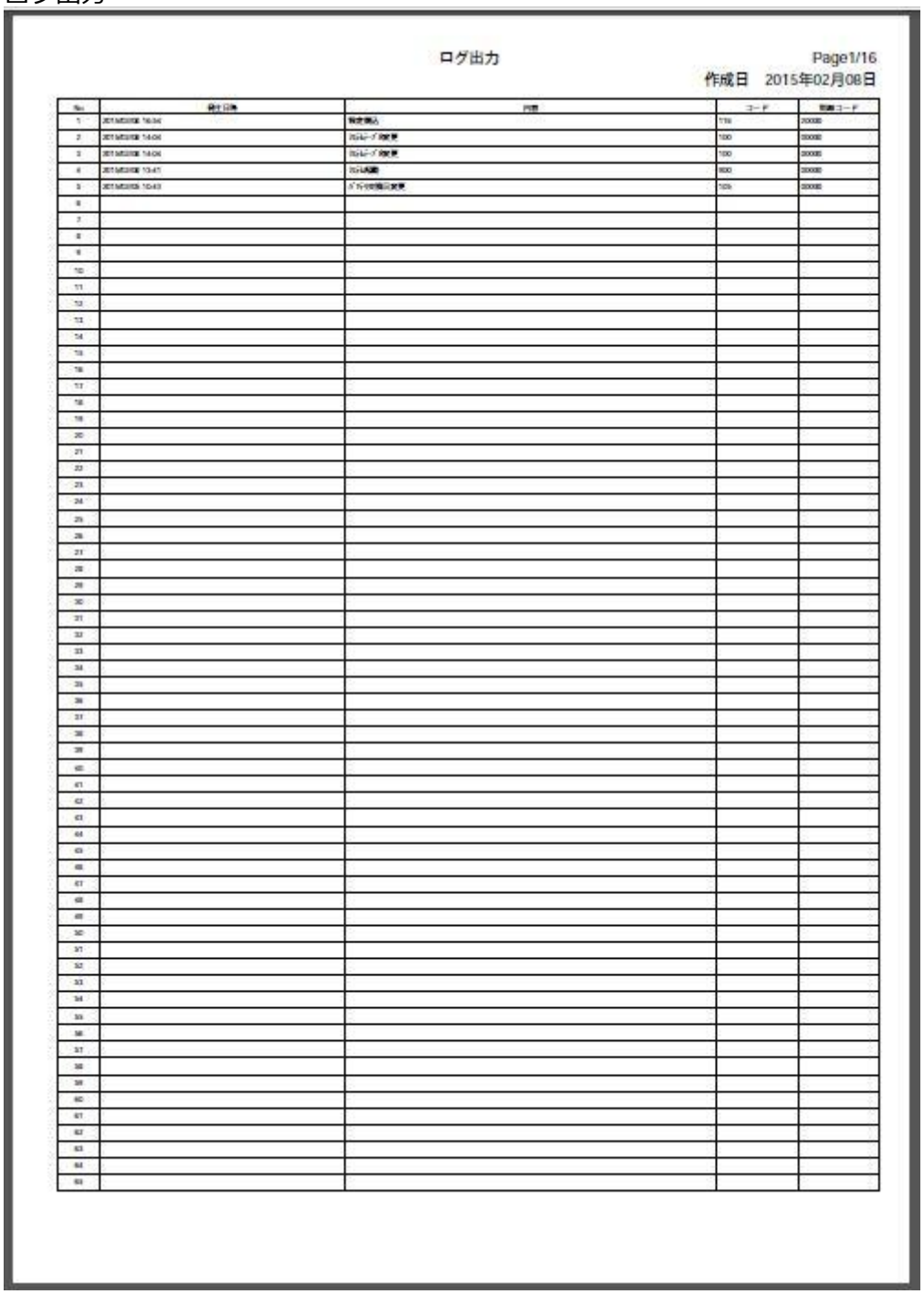
検針値設定確認


検針値設定

Page 1/1

作成日　2016年03月02日

ログ出力



ログ出力

Page1/16

作成日　2015年02月08日

No.	発行日時	内容	コード	担当コード
1	2015/02/08 16:04	指定購入	710	20000
2	2015/02/08 14:04	台レイアウト変更	700	20000
3	2015/02/08 14:04	台レイアウト変更	700	20000
4	2015/02/08 13:41	台入れ換え	800	20000
5	2015/02/08 10:43	メーカー情報変更	720	20000
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				

■ファイル形式

検針データ、日報データ、月報データ、設定データは TSV 形式（Tab 区切り）で出力することができます。このファイルは表計算ソフトウェア等で見ることができます。

・検針データファイル

ファイル名：K(YYYYMMDD).tsv　（YYYY,MM,DD:検針年,月,日）

最初の３行には、以下を記載

１行目：“ 検針帳票”

２行目：“ 検針日”＋検針年月日（フォーマット：YYYY 年 MM 月 DD 日）

３行目：“ 作成日”＋作成した年月日（フォーマット：YYYY 年 MM 月 DD 日）

検針データは入居者、種別名のレコード順位とします。

また、入居者毎に合計を、メータ種別毎に小計行を入れます。

ﾌｨｰﾙﾄﾞ No	ﾍｯﾀﾞｰ名	最大文字長	備　考
1	No.	3	通し番号
2	記号 ※1	4	入居者記号
3	入居者名 ※1	20	
4	ﾒｰﾀ種別名	10	
5	単位	10	単位名称
6	ﾒｰﾀ No	3	メータリスト番号(1～512)
7	ﾃﾞﾊﾞｲｽ名	10	デバイス名称
8	ID/ｱﾄﾞﾚｽ	12	SmaMe5 桁、SmaMe4 桁：回線-製造番号/ID TTE,TTEA：回線-機器ｱﾄﾞﾚｽ-ﾒｰﾀｱﾄﾞﾚｽ
9	乗率	6	メータ乗率(0.01～100.00)
１０	前回検針日	16	YYYY/MM/DD　hh:mm
１１	今回検針日	16	YYYY/MM/DD　hh:mm
１２	前回指針値	8	整数値のみ
１３	今回指針値	8	整数値のみ
１４	前回使用量	8	整数値のみ
１５	今回使用量	8	整数値のみ
１６	増減率	5	±XXXX（＋のときは符号なし）
１７	金額	9	整数値のみ
	CR+LF	2	

※１　前レコードと同一文字の場合、空白とします。

・日報データファイル
ファイル名：D(YYYYMMDD).tsv　（YYYY,MM,DD：指定年,月,日）

最初の３行には、以下を記載
１行目：“ 日報”
２行目：“ 日時”＋指定年月日（フォーマット：YYYY 年 MM 月 DD 日）
３行目：“ 作成日”＋作成した年月日（フォーマット：YYYY 年 MM 月 DD 日）
データは、メータテーブル順とします。

ﾌｨｰﾙﾄﾞ No	ﾍｯﾀﾞｰ名	最大文字長	備　考
1	No.	3	通し番号　（=メータ No.）
2	ﾃﾞﾊﾞｲｽ名	10	デバイス名称
3	入居者	20	入居者名
4	単位	10	単位名称
5 ～ ５２	30 分ごとの使用量 (00:30~24:00)	9×48	整数値のみ
５３	合計	9	整数値のみ
	CR+LF	2	

・月報データファイル
ファイル名：M(YYYYMM).tsv　（YYYYMM：指定年月）

最初の３行には、以下を記載
１行目：“ 月報”
２行目：“ 年月”＋指定年月（フォーマット：YYYY 年 MM 月）
３行目：“ 作成日”＋作成した年月日（フォーマット：YYYY 年 MM 月 DD 日）
データは、メータテーブル順とします。

ﾌｨｰﾙﾄﾞ No	ﾍｯﾀﾞｰ名	最大文字長	備　考
1	No.	3	通し番号　（=ﾒｰﾀ No）
2	ﾃﾞﾊﾞｲｽ名	10	デバイス名称
3	入居者	20	入居者名
4	単位	10	単位名称
5 ～ ３５	1 日ごとの使用量 （１～３１）	9×31	整数値のみ
３６	合計	9	整数値のみ
	CR+LF	2	

・設定データファイル（システムテーブル）

ファイル名：System.tsv

ﾌｨｰﾙﾄﾞ No	ﾍｯﾀﾞｰ名	最大文字長	備　考
1	No	1	1レコードのみ
2	表題名 1	32	
3	表題名 2	32	
4	UserID	16	英数字のみ
5	UserPass	16	英数字のみ
6	時刻修正	1	1:NTP サーバで補正する　0:補正しない
7	NTP ｻｰﾊﾞ P4_1	15	XXX.XXX.XXX.XXX
8	NTP ｻｰﾊﾞ P4_2	15	XXX.XXX.XXX.XXX
9	NTP ｻｰﾊﾞ MSK_1	15	XXX.XXX.XXX.XXX
１０	NTP ｻｰﾊﾞ MSK_2	15	XXX.XXX.XXX.XXX
１１	閲覧者 ID_1	16	英数字のみ
１２	閲覧者 ID_2	16	英数字のみ
１３	閲覧者 ID_3	16	英数字のみ
１４	閲覧者 ID_4	16	英数字のみ
１５	閲覧者 ID_5	16	英数字のみ
１６	閲覧者 Pass_1	16	英数字のみ
１７	閲覧者 Pass_2	16	英数字のみ
１８	閲覧者 Pass_3	16	英数字のみ
１９	閲覧者 Pass_4	16	英数字のみ
２０	閲覧者 Pass_5	16	英数字のみ
２１	本体異常警報出力	1	1:出力する　0:出力しない
２２	ﾌﾟﾘﾝﾀ異常警報出力	1	1:出力する　0:出力しない
２３	ﾊﾞｯﾃﾘ異常警報出力	1	1:出力する　0:出力しない
２４	予備	1	（将来用）
２５	ﾌﾞｻﾞｰ鳴動	1	（将来用）
２６	上位伝送ﾓｰﾄﾞ	1	1:LS 収集する　0:LS 収集しない
２７	上位伝送速度	1	0:4800bps　1:9600bps　2:19200bps
２８	上位通信用 ID	3	数値のみ
２９	本体 IP	15	XXX.XXX.XXX.XXX
３０	本体 Mask	15	XXX.XXX.XXX.XXX
３１	Def_Gate	15	XXX.XXX.XXX.XXX
３２	ﾊﾞｯﾃﾘ有無	1	1:ﾊﾞｯﾃﾘ有　0:ﾊﾞｯﾃﾘなし
３３	閲覧者 1 許可	1	1:許可　0:許可しない
３４	閲覧者 2 許可	1	1:許可　0:許可しない
３５	閲覧者 3 許可	1	1:許可　0:許可しない
３６	閲覧者 4 許可	1	1:許可　0:許可しない
３７	閲覧者 5 許可	1	1:許可　0:許可しない
３８	全ﾒｰﾀ検針自動更新許可	1	1:許可　0:許可しない
３９	入居者別検針自動更新許可	1	1:許可　0:許可しない
４０	ﾒｰﾀ種別検針自動更新許可	1	1:許可　0:許可しない
４１	個別ﾒｰﾀ検針自動更新許可	1	1:許可　0:許可しない
４２	全ﾒｰﾀ検針自動印字許可	1	（将来用）
４３	入居者別検針自動印字許可	1	（将来用）
４４	ﾒｰﾀ種別検針自動印字許可	1	（将来用）
４５	個別ﾒｰﾀ検針自動印字許可	1	（将来用）
	CR+LF	2	

・設定データファイル（メータ種別テーブル）

ファイル名： Meter_Kind.tsv

ﾌｨｰﾙﾄﾞ No	ﾍｯﾀﾞｰ名	最大文字長	備　考
1	No	3	20 レコード
2	登録区分	1	1:登録　0:未登録
3	ﾒｰﾀ種別	10	
4	単位	10	
5	定時検針(月)	1	0:定時検針対象外　1:毎月検針 2:奇数月検針　3:偶数月検針
6	定時検針(日)	2	01～31
7	定時検針(時)	2	00～23
8	基本料金	8	0～99999.99
9	基本使用量	5	0～99999
１０	単価 1	8	0～99999.99
１１	単価変更使用量	5	0～99999
１２	単価 2	8	0～99999.99
１３	単価変更使用量 2	5	0～99999
１４	単価 3	8	0～99999.99
	CR+LF	2	

・設定データファイル（メータテーブル）

ファイル名： Meter.tsv

ﾌｨｰﾙﾄﾞ No	ﾍｯﾀﾞｰ名	最大文字長	備　考
1	No	3	512 レコード
2	登録区分	1	1:登録　0:未登録
3	ﾃﾞﾊﾞｲｽ名	10	
4	ﾒｰﾀ種別	2	1～20(ﾒｰﾀ種別 No)
5	接続ﾒｰﾀ	1	0:なし　1:SmaMe4 桁　2:SmaMe5 桁 3:RQ-TTEA　4:RQ-TTE
6	乗率	6	0.01～100.00
7	製造番号/ID	10	
8	ﾒｰﾀ設置日	10	YYYY/MM/DD
9	回線	1	0～3
１０	機器ｱﾄﾞﾚｽ	1	0～9（接続メータがなし、SmaMe5 桁、SmaMe4 桁は 0）
１１	ﾒｰﾀｱﾄﾞﾚｽ	1	0～9（接続メータがなし、SmaMe5 桁、SmaMe4 桁は 0）
１２	入居者 No	3	
１３	料金印字許可	1	1:印字する　0:印字しない
１４	使用量印字許可	1	1:印字する　0:印字しない
１５	検針許可	1	1:検針する　0:検針しない
	CR+LF	2	

・設定データファイル（入居者テーブル）

ファイル名：User.tsv

ﾌｨｰﾙﾄﾞ No	ﾍｯﾀﾞｰ名	最大文字長	備　考
1	No	3	512 レコード
2	登録区分	1	1:検針する　0:検針しない
3	記号	4	半角英数文字のみ
4	入居者名	20	入居者名称
	CR+LF	2	

問い合わせ先

東光東芝メーターシステムズ株式会社　営業部

〒105-0014　東京都港区芝一丁目 12-7　芝一丁目ビル 6F
TEL　03-6371-4359
FAX　03-6436-4924
URL　http:// www.t2ms.co.jp/contact.htm
e-mail　info@t2ms.co.jp

自動検針装置　TOSCAM-B12　取扱説明書（Web 機能編）

初　版　２０１４年　8月
第２版　２０１４年１２月
第３版　２０１５年　3月

版権所有　東光東芝メーターシステムズ株式会社
この資料の一部を当社の許可なく、他に転用することを禁じます。また、この内容は、予告無しに変更することがありますのでご了承ください。

WM-3030997-2